

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
旭川医科大学	旭川医科大学医学部医科学学生に対する奨学金	在学中	年度ごとに申請	学費支援		日本学生支援機構第二種奨学金の最大額の貸付を受けていない。特別な理由により、経済的困難の高い医学科の学生。	貸与奨学金	月7万円	最長72箇月間		地域の制限なし	学生支援課学生総務係	併用可		
	旭川医科大学医学部看護学科学学生に対する奨学金	在学中	年度ごとに申請	学費支援		看護学科学学生対象	貸与奨学金	月3万5千円	最長48箇月間		地域の制限なし	学生支援課看護学科学係	併用可	併用可	
小樽商科大学	小樽商科大学経済活動基金による奨学金(交換留学)	その他	留学決定後	留学費用支援制度		全学年全学部 交換留学派遣学生のうち成績優秀者	給付奨学金	10~20万円(派遣先により異なる) ※単価は変更される可能性がある	一時金	年間25名程度	地域の制限なし	学生支援課国際交流室	併用可	併用可	
	教育振興基金による奨学金(事務科目)	その他	各プログラムの募集期間による	留学費用支援制度		全学年全学部(対象となる事務科目を要請した者のみ) 面接試験を課している	給付奨学金	10万円 ※単価は変更される可能性がある	一時金	年間40名程度	地域の制限なし	学生支援課国際交流室	併用可	併用可	
	教育振興基金による奨学金(キャリアブイパープログラム)	その他	キャリアブイパープログラム参加者に給付されるため申請不要	留学費用支援制度		1年間の入学前準備を行うキャリアブイパープログラムに参加する者 面接試験を課している	給付奨学金	60万円 ※単価は変更される可能性がある	一時金	3名	人数は変更される可能性がある	地域の制限なし	学生支援課国際交流室	併用可	併用可
	小樽商科大学経済活動基金による奨学金(語学研修)	その他	各プログラムの募集期間による	留学費用支援制度		全学年全学部(対象となる語学研修を受講した者のみ) 面接試験を課している	給付奨学金	5~10万円 ※単価は変更される可能性がある	一時金	年間10名程度	地域の制限なし	学生支援課国際交流室	併用可	併用可	
帯広畜産大学	帯広畜産大学創立50周年記念奨学金	在学中	全学年	学費支援		他の給付型の奨学金を受けていない者で、以下のいずれかに該当する学生。 1. 経済的理由により休学が継続し復学し、かつ卒業後奨学金と認められる場合 2. 申請開始1ヶ月以内において、学費負担が軽減し、又は本人親しい学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより、修学が難しく困難であると認められる場合 3. 前年度日程合格者のうち入試成績1~4位以内の者、及び後年度日程合格者のうち入試成績1~4位以内の者	給付奨学金	月額 3万円	1年間	併年度：学部12名、大学院7名 ※学年により変動あり	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可	
	帯広畜産大学創立50周年記念奨学金奨学	入学手続時				前年度日程合格者のうち入試成績1~4位以内の者、及び後年度日程合格者のうち入試成績1~4位以内の者	給付奨学金	44,650円 × 12ヶ月(学部1年間)	入学年度のみから1年間	前年度日程合格者の上位8人 後年度日程合格者の上位13人	地域の制限なし	学生支援課学生支援係	併用可	併用可	
北見工業大学	学部一級入試成績優秀者に対する入学料免除	入学手続時				前年度日程及び後年度日程合格者の総点数の高い順にそれぞれ募集人員の上位10%以内、並びに一定の収入基準を満たす者	免除・減免	282,000円	入学時のみ		地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	地元就職奨学金	在学中	学部4年次または大学院修士前期課程2年次	用途を定めない経済的支援 奨励支援		学部4年次または大学院修士前期課程2年次を対象とし、本学卒業または修了後、北海道のオホーツク管内への就職意向を有する旨を誓約し、事前登録されたオホーツク管内奨励企業等に就職し、3年以上勤務すること。	免除・減免	30,000円/月 × 12ヶ月	入学時		地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	TOEIO奨励補助制度	その他	申請不要(3)の条件を満たした場合、受験後に受験料の一部補助が交付される。	資格取得支援制度		【条件】 ①本学学生である ②北見工業大学生協で申し込み ③本学の試験会場で受験する ④本学に成績通知されたとを了する	その他	3,000円(受験料の一部補助)	受験後、生協が定める期間		地域の制限なし	教務課教務企画係	併用可	併用可	
	検定料の免除(東日本震災特別)	その他	【条件】 ①令和5(2023)年度入学希望者に対する申請期間 ②1次試験選抜、学校推薦選抜の申請期間 令和5年1月6日(金)から令和5年1月13日(金)まで(必要) ③2次試験選抜及び私費外国人留学生入試の申請期間 令和5年2月10日(金)から令和5年2月17日(金)まで(必要)	被災者資金支援		(1)東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者 1. 主たる養育費支持者が所有する自宅が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合 2. 主たる養育費支持者が死亡又は行方不明の場合 (2)居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、暫定帰還区域又は避難指示解除準備区域に指定された者 ※いづれも編入入学試験及び大学院工学研究科入学試験の志願者を除く	免除・減免	17,000円	併年度3月下旬~12月		地域の制限なし	教務課入学試験係	併用可	併用可	
	協定校へ留学する学生への奨学金	その他	派遣3か月前まで	留学費用支援制度		対象者 ①本学定期課程に在籍する日本人学生で、協定校に短期交換留学として派遣される者 ② 留学・入国ともに滞り、経済的援助が必要であると認められる者 ③ 日本国籍、協定校から奨学金(給付)等を受けていない者又は受けていない奨学金(給付)等が月額3万円に満たない者 ④ 留学期間終了後、本学に戻り、学業を継続する者 ⑤ 以前に本奨学金を支給されたことがない者(本奨学金の支給は1回限り)	給付奨学金	月額30,000円を限度とし、派遣期間の月数に応じて支給する。		派遣の直前までで、助成額の全額を支給する。	制限なし	地域の制限なし	研究協力課国際交流係	併用不可	条件有り併用可
	語学研修プログラム参加費	随時		留学費用支援制度		対象者 韓国(ソウル、フィリピン)、中国語(台湾)の語学研修プログラムへ参加する学生	給付奨学金	旅費の一部(当該年度の予算の範囲内)	随時	当該年度の予算の範囲内		地域の制限なし	研究協力課国際交流係	併用可	併用可
	学生海外派遣旅費	随時		留学費用支援制度 課外活動支援制度		対象者 ①本学と学生交流に関する協定等を締結している外国の大学に交換留学として留学する学生 ②外語で開講される国際会議等に参加し、発表等の役割を有する学生	給付奨学金	助成額 ①国内分を除くエコノミークラス往復航空運賃又は最長往復距離の90%、外滞15万円を限度とする。 ②国内分を除くエコノミークラス往復航空運賃又は最長往復距離の90%以下、往復10万円を限度とする。	随時	当該年度の予算の範囲内		地域の制限なし	研究協力課国際交流係	併用可	併用可
	情報処理技術者試験受験補助制度	その他	申請不要(3)の条件を満たした場合、受験後に受験料の一部補助が交付される。	資格取得支援制度		【条件】 ①本学の学習管理システムで出題登録を行う ②支払いが確認できる事項を提出する ③試験結果が確認できる書類を提出する ※ITパスポート試験は対象外	その他	【試験に合格した場合】 金額(3,000円) ※試験の試験料は分給した場合は全て補助対象となる。 【不合格であった場合】 年度内に2回まで補助を受け取ることができる。 1回目とは金額、2回目は4,000円の補助となる。	1回目:令和5年9月19日(火) ~令和5年10月13日(金) 2回目:令和5年12月18日(月) ~令和6年1月17日(水)	制限なし	地域の制限なし	教務課教務企画係	併用可	併用可	
	外国人留学生入学奨励奨学金	その他	4月入学者は6月 10月入学者は12月		用途を定めない経済的支援		対象者(次の条件全てを満たす者) (1)私費外国人留学生(学部、大学院、研究生、特別聴講生) (2) 外国政府、団体等から奨学金(給付、貸付)等を受けていない者又は受けていない奨学金が月額4万円に満たない者 (3) 入学料及び授業料が免除でない者 (4) 本国の家族の遺族先の居住を提出している者 (5) 以前に本奨学金を支給されたことがない者(本奨学金の支給は1回限り) (6) 在学期間が3か月を超える者	給付奨学金	1ヶ月あたり10,000円 支給上限額120,000円(1年間)	11月開校して入学前2か月を経過した以降に支給する。 2) 奨学金の支給は、四年制課程に在学状況及び他の奨学金等受給状況に基づく優待措置を行った上で、3か月分を一括して支給する。	制限なし	地域の制限なし	研究協力課国際交流係	併用不可	条件有り併用可
	北海道大学	きのとや奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援		「本学の学部1年次に在学する日本人学生(聴覚障害、研究生等の非正規生を除く)・申請時点において、ひとり親家庭であること・申請時点において、休学中または留年中でないこと・申請料3万円以内であること」	給付奨学金	月額4万円			地域の制限なし	学務部学生支援課奨学支援担当	併用可	併用可
北海道教育大学旭川校		北海道教育大学基金による修学支援事業(奨学金給付事業)	在学中	全学年	学費支援 その他	物価高に対する経済対策支援	経済的困難度の極めて高い学生に対して、本学が定める選考基準に問い、奨学金を給付する。	給付奨学金	1000~4500円(経済困難度に応じて決定する)	一括	支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可
北海道教育大学岩見沢校	北海道教育大学基金による修学支援事業(海外留学支援事業)	在学中	全学年	留学費用支援制度		経済的支援の必要が高い学生を対象に、本学が定める選考基準に問い、海外留学に係る旅費費用の一部を補助する。	給付奨学金	上限100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括	毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用不可	条件有り併用可	
	北海道教育大学基金による育英事業	在学中	2,3,4年次	特待生・成績優秀者		前年度成績上位者で自己研鑽に励む優秀な者(学部2年次~4年次)	給付奨学金	年間100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括	毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可	
	学生寮	在学中	全学年	寮制度		通学状況、又は経済的状況を調査の上、選考を行う。	その他	寮宿月額1,800~4,300円、その他奨励金等は自己負担。	全学年	男女6名、女36名	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	併用可	
	留学による授業料減免	在学中	4年次	入学金・授業料減免		在学中に留学したことにより修業年限を超えて在学し、かつ卒業後奨学金と認められる場合、授業料を半額ごとに全学または半額を免除する。	給付奨学金		一括	支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可	
	留学による授業料減免	在学中	4年次	入学金・授業料減免		在学中に留学したことにより修業年限を超えて在学し、かつ卒業後奨学金と認められる場合、授業料を半額ごとに全学または半額を免除する。	給付奨学金		一括	支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可	
	北海道教育大学基金による修学支援事業(海外留学支援事業)	在学中	全学年	留学費用支援制度		経済的支援の必要が高い学生を対象に、当該事業に海外留学(3か月以上)した、海外長期語学研修制度により留学した場合は、その定める期間)する学部、大学院、別科の学生に海外留学に係る旅費費用の一部を補助する。	給付奨学金	上限100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括	毎年度の事業計画に基づき決定する。	国際課	併用不可	条件有り併用可		
	北海道教育大学基金による育英事業	在学中	2,3,4年次	特待生・成績優秀者		前年度成績上位者で自己研鑽に励む優秀な者(学部2年次~4年次)	給付奨学金	年間100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括	毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	併用可	
	学生寮	在学中	全学年	寮制度		通学状況、又は経済的状況を調査の上、選考を行う。	その他	寮宿月額4,300円、その他奨励金等は自己負担。	修学終了時まで(年間あり)	男女6名、女36名	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可	
	北海道教育大学基金による修学支援事業(奨学金給付事業)	在学中	全学年	その他	物価高に対する経済対策支援		経済的困難度の極めて高い学生に対して、本学が定める選考基準に問い、奨学金を給付する。	給付奨学金	1000~4500円(経済困難度に応じて決定する)	一括	支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可
	北海道教育大学釧路校	北海道教育大学基金による修学支援事業(奨学金給付事業)	在学中	全学年	その他	物価高に対する経済対策支援	経済的困難度の極めて高い学生に対して、本学が定める選考基準に問い、奨学金を給付する。	給付奨学金	1000~4500円(経済困難度に応じて決定する)	一括	支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可
北海道教育大学基金による修学支援事業(海外留学支援事業)	在学中	全学年	留学費用支援制度		経済的支援の必要が高い学生を対象に、当該事業に海外留学(3か月以上)した、海外長期語学研修制度により留学した場合は、その定める期間)する学部、大学院、別科の学生に海外留学に係る旅費費用の一部を補助する。	給付奨学金	上限100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括	毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	学生支援グループ	併用不可	条件有り併用可		
北海道教育大学基金による育英事業	在学中	2,3,4年次	特待生・成績優秀者		前年度成績上位者で自己研鑽に励む優秀な者(学部2年次~4年次)	給付奨学金	年間100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括	毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	併用可		
留学による授業料減免	在学中	4年次	入学金・授業料減免		在学中に留学したことにより修業年限を超えて在学し、かつ卒業後奨学金と認められる場合、授業料を半額ごとに全額または半額を免除	免除・減免		一括	支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	学生支援課学生支援グループ	併用可	併用可		
学生寮	在学中	全学年	寮制度		通学状況、又は経済的状況を調査の上、選考を行う。	その他	寮宿料 月額4,300円(電気・水道・暖房・ガス別)	全学年	男女6名、女36名	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可		
北海道教育大学札幌校	北海道教育大学基金による修学支援事業(奨学金給付事業)	在学中	全学年	その他	物価高に対する経済対策支援	経済的困難度の極めて高い学生に対して、本学が定める選考基準に問い、奨学金を給付する。	給付奨学金	1000~4500円(経済困難度に応じて決定する)	一括	毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	教育研究支援部 学生支援課	併用可	併用可	
	北海道教育大学基金による修学支援事業(海外留学支援事業)	在学中	全学年	留学費用支援制度		経済的支援の必要が高い学生を対象に、当該事業に海外留学(3か月以上)した、海外長期語学研修制度により留学した場合は、その定める期間)する学部、大学院、別科の学生に海外留学に係る旅費費用の一部を補助する。	給付奨学金	年間100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括	毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	国際課	併用不可	条件有り併用可	
	北海道教育大学基金による育英事業	在学中	2,3,4年次	特待生・成績優秀者		前年度成績上位者で自己研鑽に励む優秀な者(学部2年次~4年次)	給付奨学金	年間100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括	毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	留学による授業料減免	在学中	4年次	入学金・授業料減免		在学中に留学したことにより修業年限を超えて在学し、かつ卒業後奨学金と認められる場合、授業料を半額ごとに全額または半額を免除	免除・減免		一括	支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	学生支援課学生支援グループ	併用可	併用可	
	学生寮	在学中	全学年	寮制度		通学状況、又は経済的状況を調査の上、選考を行う。	その他	寮宿料 月額4,300円(電気・水道・暖房・ガス別)	全学年	男女6名、女36名	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可	
北海道教育大学函館校	北海道教育大学基金による修学支援事業(奨学金給付事業)	在学中	全学年	その他	物価高に対する経済対策支援	経済的困難度の極めて高い学生に対して、本学が定める選考基準に問い、奨学金を給付する。	給付奨学金	1000~4500円(経済困難度に応じて決定する)	一括	毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可	
	北海道教育大学基金による修学支援事業(海外留学支援事業)	在学中	全学年	留学費用支援制度		経済的支援の必要が高い学生を対象に、当該事業に海外留学(3か月以上)した、海外長期語学研修制度により留学した場合は、その定める期間)する学部、大学院、別科の学生に海外留学に係る旅費費用の一部を補助する。	給付奨学金	上限100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括	毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	学生支援グループ	併用不可	条件有り併用可	
	北海道教育大学基金による育英事業	在学中	2,3,4年次	特待生・成績優秀者		前年度成績上位者で自己研鑽に励む優秀な者(学部2年次~4年次)	給付奨学金	年間100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括	毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	併用可	
	北海道教育大学海外留学奨励金	在学中	全学年	留学費用支援制度		在学中に留学したことにより修業年限を超えて在学し、かつ卒業後奨学金と認められる場合、授業料を半額ごとに全額または半額を免除	免除・減免		一括	支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	併用可	
	学生寮	在学中	全学年	寮制度		通学状況、又は経済的状況を調査の上、選考を行う。	その他	寮宿料月額4,300円、その他奨励金等は自己負担。	修学終了時まで(年間あり)	男女120名、女60名	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可	
室蘭工業大学	室蘭工業大学奨励奨学金	入学後		学費支援		国立高専から本学に編入した者(ただし、留学生を除く)で、かつ、次に掲げる条件全てを満たす者とする。 ① 大学等に於ける修学の支障に関する事情(令和5年度法律第88号)による授業料等減免の対象者 ② 大学等に於ける修学の支障に関する事情(令和5年度法律第88号)による授業料等減免の対象者	給付奨学金	半額分(前1学期分又は後学期分)の授業料6分の1相当額(奨励コース44,650円、夜間コース22,325円)とする。	入学時から卒業時までの2年間とする。		人数制なし	地域の制限なし	学務課学生支援係	併用可	併用可
	室蘭工業大学卓越した学生に対する授業料免除	在学中	4年生	入学金・授業料減免		4年生対象 成績優秀者 詳細は学務課学生支援係にお問い合わせください。	免除・減免	前期授業料全額	4年生の前期授業料1回限り	8名	地域の制限なし	室蘭工業大学学務課学生支援係	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
弘前大学	岩谷弘前大学教育基金	その他		用途を定めない経済的支援	1 年次ごとに相応の修得単位数があり、標準修業年間で卒業が見込まれる者。但し、留学による休学期間は修業年限に含めない。 2 1年次学生は4月に入学した者。 3 弘前大学における各種標準他の評定値の平均が75以上の者。 4 奨学金制度は、1～3回とし、かつ前回の者が本年度支援機構から同一種奨学金(学用品)以下の者、他の奨学金制度に対する給付制ではない。 5 本教育基金の採用は、学部在学期間中1～2年次(医学部医学科学生は1～3年次)で1回、3～4年次(医学部医学科学生は4～6年次)で1回までとする。	給付奨学金	奨学金1人20万円		一括給付	24名程度	地域の制限なし	学務部学生課生活支援グループ	併用可	併用可	
	弘前大学基金「トヨタ未来の青森県振興事業」	その他		用途を定めない経済的支援	1 本学の学部在学中2年次以上の学生で、年次ごとに相応の修得単位数があり、標準修業年間で卒業が見込まれる者。 2 専攻内のみであること。 3 資料「支持者の収入・所得額が日本学生支援機構第一種奨学金基準(学用品)以下の者であり、経済的理由により修学が困難であること。 4 本学における経済的理由が学費の滞りによるものであること。 5 本学卒業後に「青森県庁」就職を希望している者。	給付奨学金	奨学金1人5万円		一括給付	4名	青森県	学務部学生課生活支援グループ	併用可	併用可	
	弘前大学生活支援奨学金	随時		用途を定めない経済的支援	1 一時的な経済的理由により生活が困難な者が対象。 2 担任教員の同意が必要。	貸与奨学金	一人10万円を上限とし、貸与回数に制限なく一回。		申請から滞り程度に一回一括給付	制なし。(ただし、予算の範囲内)	地域の制限なし	学務部学生課生活支援グループ	併用可	併用可	
	弘前大学国際交流基金助成金	その他	派遣決定後、速やかに。	留学費用支援制度	協定校(本学が国際交流を目的として交流協定の締結を結んだ大学)に交換留学して派遣、または協定の協定校で実施される3ヶ月未満の派遣プログラムに派遣を受けることで、出費の一部を、あるいは全額を支援する。あるいは日本学生支援機構から申請される奨学金を併用している者。	給付奨学金	事前に支払った費用と同額を支給する。ただし、当該年度予算の範囲内で一人あたり4万5千円を上限とする。		申請後、必要書類を精査の上、1回支給。	特に定めはない。	地域の制限なし	国際連携本部	併用不可	併用不可	
	学生寮	その他	令和6年度は前期:3月4日～10日、後期:3月20日～22日を予定	滞り制度	留学期間学生(外国人留学期間を含む)とする。ただし、入寮を望まない場合は、欠学期間の学生(外国人留学期間を含む)及び外国人留学期間である科目履修者、研究生、聴覚及び特別聴覚学生(以下「科目等履修生」という。)を入寮可能である。 また、協定校に在籍する学生(協定校に在籍する学生)及び外国人留学期間である科目履修者、研究生、聴覚及び特別聴覚学生(以下「科目等履修生」という。)を入寮可能である。また、協定校に在籍する学生(協定校に在籍する学生)及び外国人留学期間である科目履修者、研究生、聴覚及び特別聴覚学生(以下「科目等履修生」という。)を入寮可能である。	その他						地域の制限なし	学務部学生課課外教育担当	併用可	併用可
	課外活動団体支援	在学中	各年度末 1年生～4年生		課外活動支援制度	10年以上継続している課外活動団体を対象として、各団体からの要望に基づき、物品支給・施設稼働等を実施している。	その他	年間で10回以内で、1団体当たり10万円以内とする。				地域の制限なし	学務部学生課学生・企画担当	併用可	併用可
	学生ボランティア活動助成	在学中	例年、4月の募集時期		課外活動支援制度	学内外のボランティア活動を実施している課外活動団体について、活動を助成するため、希望する消耗品を支給する。 なお、対象となるには、以下の条件を満たす必要がある。 1 ボランティア活動であること。 2 ボランティア活動として過去2年の実績を有すること。 3 本学専攻員のみならず、専攻員以上の資格であること。 4 賛助企業に直接関係がないこと。	その他					地域の制限なし	学務部学生課学生・企画担当	併用可	併用可
	TOEIC受験料支援制度	その他	実施年度毎に定めている。		その他	本人の申請に基づき、学部学生及び大学院生に対し、TOEIC Listening&Reading Testの公開テスト及びInstitutional Program(IPテスト)(当該年度実施分)の受験料の一部を給付。	給付奨学金	・TOEIC Listening & Reading Test 公開テスト 6,850円 ・TOEIC Listening & Reading Test 公開テストIPコース 6,250円 ・TOEIC Listening & Reading Test Institutional Program (IPテスト) 3,700円 ・TOEIC Listening & Reading Test Institutional Program (IPテストオンライン) 3,700円		申請後の翌月支給	特に定めはない。予算がなくなり次第、交付を停止する。	地域の制限なし	学務部教務課教養教育担当	併用可	併用可
	弘前大学基金「弘前大学生活協同組合学生支援金給付事業」	その他	11月～12月頃		用途を定めない経済的支援	(1)本学の正規の学部学生であること。(申請日時点で休学中の者を除く) (2)独立行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という。)の給付型奨学金に申請した者が対象となる(本学入学期に予約採用で給付型奨学金に申し込みを済ませた者に限らず、予約採用以外に給付型奨学金に申し込みを済ませた者を含む。) (3)協定の貸与奨学金を利用している者(申請中の者を除く)。 (4)申請日の属する年度において、以下の免除対象となる旨も受けていない者。 ・弘前大学奨励(平成18年度以降第2号)第45条に規定する授業料免除 ・専攻員以上の資格を有する者(専攻員) ・青森県国民健康保険団体連合会奨励修学資金支援事業 ・弘前大学奨励給付奨学金(協定校に在籍する学生)修学資金 ・3年以内の卒業見込み奨励金 ・その他、本学で扱う授業料免除及び給付型奨学金	給付奨学金	1人あたり10万円							
	弘前大学医学部附属病院看護学学生修学資金	在学中	2～4学年の4～5月		学費支援 用途を定めない経済的支援	2～4学年・弘前大学医学部看護学専攻に在籍し、看護職または助産師として弘前大学医学部附属病院職員の資格を有する者が対象。 なお、卒業までに在籍期間が満たない場合は、申請した期間、本学で勤務しない場合は、奨学金の返還が必要となる。	給付奨学金	毎月50,000円支給			卒業までの期間(最大3年)	1学年8名程度(専攻員数により併用可・人数調整あり)	医学部附属病院看護学学生グループ	併用可	条件有りて併用可
弘前大学医学部看護学学生修学資金	その他	在学中随時		用途を定めない経済的支援	対象は医学部医学科に在籍する学生	貸与奨学金	1人10万円を上限とし、貸与回数は原則として1回とする。ただし、特別な事情により生活が困難した場合は、上限額、貸与回数に制限なく複数回を設けず、予算の範囲内で貸与する。			随時	人数調整なし(ただし、予算の範囲内)	医学研究科学科グループ	併用可	併用可	
岩手大学	成績優秀者の授業料免除	その他	大学側で選考を行い、対象者となった方に直接ご連絡します。	特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除	学年:学部3年次 学部:全学年 対象校:各学部において3年次後期までの成績が優秀である者	免除・減免	後期授業料全額免除(261,900円)			対象年度の後期授業料を全額免除します。	全学年計16名程度(学部学生数に応じて選出)	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	岩手大学イー・ハープ基金国際交流・留学生支援事業奨学金	在学中	前期・後期各1回募集を行い、選考予定前に申請	留学費用支援制度	学年:指定なし 学部:指定なし 対象校:本学で認められた海外研修プログラムに参加する学部生及び大学院生のうち、他国からの渡外派遣・留学等に際する奨学金の未支給者、奨励金等の推薦を受けた者	給付奨学金	留学期間6か月以上 1人当たり20万円 留学期間6か月未満 1人当たり15万円 短期研修1人当たり1万円	1回限り、切り			(2023年度) 交換留学:11名程度 短期研修:16名程度	学務部国際課	併用不可	併用不可	
	岩手大学イー・ハープ基金奨学金	在学中		用途を定めない経済的支援	学年:指定なし 学部:指定なし 対象校:本学の学部生で経済的に困難しており、かつ学業優秀と認められる者	給付奨学金	年額10万円を一括で支給			対象年度の4月1日～3月31日	年額60名程度	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可
東北大学	東北大学元気・前向き奨学金(修学支援奨学金)	在学中		用途を定めない経済的支援 その他	1)対象学生 本学に在籍する学部学生で、以下に掲げるすべての事項に該当し、経済的支援を要する学業成績優秀者 ・令和3年度以降1年次の学部1、2、3年生(外国人留学期間を除く)(2023年度募集時) ・応募年度の4月1日現在で25歳未満である者 2)対象学生 ・本学の他の給付型奨学金、または他の団体・機関からの給付型奨学金を受けておらず、また支給を予定していない者 ・日本学生支援機構給付奨学金が対象外の学生のうち、以下の理由で対象外となった者 ・学費支援 入学金・授業料免除 協賛者資金支援	給付奨学金	4年生～6年生(2023年度現在) 経済的理由により、授業料を滞りなく支払うことが困難であると認められ、かつ、学業成績が優秀であると認められる者 ただし、日本学生支援機構の給付奨学金の申請をすること、又は給付奨学金に申請しない(できない)正当な理由があること	授業料の全額、2/3、半額、1/3相当額		学期毎	予算による	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りて併用可
	授業料減免制度	在学中		学費支援 入学金・授業料免除 協賛者資金支援	4年生～6年生(2023年度現在) 経済的理由により、授業料を滞りなく支払うことが困難であると認められ、かつ、学業成績が優秀であると認められる者 ただし、日本学生支援機構の給付奨学金の申請をすること、又は給付奨学金に申請しない(できない)正当な理由があること	免除・減免	授業料の全額、2/3、半額、1/3相当額					学生支援課	併用可	条件有りて併用可	
	授業料免除制度	在学中		入学金・授業料免除	以下①～④の全てを満たす者 ①高等教育の修学支援新制度の対象校である者 ②協定の貸与奨学金を利用している者、成績優秀者である者 ③経済的理由が高いと認められる者 ④前年度(1年生は前期)において、本学が認めたボランティア活動又は奨励している課外活動に規定の日数回参加している者	免除・減免	授業料の一部を免除						学生支援課	併用可	併用可
宮城教育大学	授業料免除	在学中		入学金・授業料免除	①高等教育の修学支援新制度の対象校である者 ②協定の貸与奨学金を利用している者、成績優秀者である者 ③経済的理由が高いと認められる者 ④前年度(1年生は前期)において、本学が認めたボランティア活動又は奨励している課外活動に規定の日数回参加している者	免除・減免	授業料の一部を免除						学生支援課	併用可	併用可
	サークルスタンプアップサポート	在学中		課外活動支援制度	大学公認サークル	その他	原則として1団体につき10万円以内 1団体につき年1回					地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	新入生奨励奨学金	その他		用途を定めない経済的支援	学部新入生のうち、次のいずれかに該当する場合 ①経済的理由により入学料が滞りし状態である者 ②入学前年度に、本人の学費を主として負担している者(以下「学費負担者」という。)が死亡し、または本人もしくは学費負担者が風水害・地震等の災害を受けたことにより、入学料の納付が困難であると認められる者 ③学費支援 学業奨励金の給付を行う。	給付奨学金	1人 10万円(予定)		一時金のため、給付は一度限り。	10人程度	地域の制限なし	学生支援・教職課	併用可	併用可	
山形大学	山形大学山形道奨学金	入学手続時		学費支援 入学金・授業料免除	学業が極めて優秀で、かつ経済的理由により山形大学への進学が困難な方で、卒業後、山形県の地域振興に貢献していただく方	給付奨学金 免除・減免	月額5万円の奨学金のほか、授業料を免除						学務部学生課	併用可	併用可
	山形大学リアンケンバウムのみと田島也奨学金	入学手続時		学費支援 入学金・授業料免除	学業が極めて優秀で、かつ経済的理由により山形大学への進学が困難な方で、山形県東上地区の高等学校出身の方、東上地区の発展に強い意欲を有する方	給付奨学金 免除・減免	月額4万円の奨学金のほか、授業料を免除						学務部学生課	併用可	併用可
	山形大学 YU One 奨学金	在学中		特待生・成績優秀者	学部3年生(医学部医学科は学部5年生)のうち、成績、人物ともに優秀であり、奨励生にふさわしい学生、奨励生は学部長推薦に基づき推薦します。	給付奨学金	月額3万円						学務部学生課	併用可	併用可
福島大学	山形大学修学支援事業学生支援奨学金	随時		学費支援	経済的理由により、一時的に授業料等の支払いが困難になった方	貸与奨学金	30万円まで						学務部学生課	併用可	併用可
	しのぶ奨励奨学金	在学中		用途を定めない経済的支援	①福島大学に1年以上在籍の学生 ②経済的に困難な学業成績優秀者であること ③日本学生支援機構給付奨学金や他の団体からの給付奨学金を受けていないこと。	給付奨学金	月額5万円						学務部学生課	併用不可	併用不可
	授業料免除制度	その他	前期:3月頃 後期:9月頃	入学金・授業料免除	本学の学部または大学院研究科の学生(研究生、科目等履修生及び特別聴覚学生を除く)であって、次のいずれかに該当していること。 (1)経済的理由による納付困難により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が基準を満たす場合 (2)協定の貸与奨学金を利用している者、成績優秀者である者、経済的理由が学費の滞りによるものである者(経済的理由が学費の滞りによるものである者) (3)学業成績が優秀であると認められる場合、又は国立大学法人筑波技術大学学生の表彰に関する規程(平成17年規程第78号)第2条の規定により表彰された場合 (4)社会人として入学した場合 (5)私費で入学する者である場合 (6)その他やむを得ない事情があると認められる場合	免除・減免	授業料の全額または半額または一部(267,900円または133,950円または一部)		半期ごと1回	予算の範囲内	地域の制限なし	地質学専攻長支援課学生課/視覚障害者支援課学生課	併用可	併用可	
筑波技術大学	入学科免除制度	入学手続時		入学金・授業料免除	本学の学部または大学院研究科に入学する者(科目等履修生及び研究生として)の入学を断る者であって、次のいずれかに該当していること。 (1)1年以上を滞りなく学業を修得する者(入学前1年以内)に発生したものであるため、入学料の納付が滞りし状態であると認められる場合 (2)前記に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由があるとき	免除・減免	入学科の全額または半額(282,000円または141,000円)		1回限り	予算の範囲内	地域の制限なし	地質学専攻長支援課学生課/視覚障害者支援課学生課	併用可	併用可	
	入学科徴収抑制制度	入学手続時		その他	本学の学部または大学院研究科に入学する者(科目等履修生及び研究生として)の入学を断る者であって、次のいずれかに該当していること。 (1)経済的理由による納付困難により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が基準を満たす場合 (2)その他やむを得ない事情があると認められる場合	その他	納付する必要がある全額			入学した年度の末日まで入学料の徴収を抑制する	対象者全員	地域の制限なし	地質学専攻長支援課学生課/視覚障害者支援課学生課	併用可	併用可
	授業料徴収抑制制度	その他	前期:3月頃 後期:9月頃	その他	授業料の徴収抑制	本学の学部または大学院研究科の学生(研究生、科目等履修生及び特別聴覚学生を除く)であって、次のいずれかに該当していること。 (1)経済的理由による納付困難により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が基準を満たす場合 (2)協定の貸与奨学金を利用している者、成績優秀者である者、経済的理由が学費の滞りによるものである者(経済的理由が学費の滞りによるものである者) (3)その他やむを得ない事情があると認められる場合	その他	納付する必要がある全額		前期分については(3)月末日まで、後期分については(3)月末日まで、授業料の徴収を抑制する。	対象者全員	地域の制限なし	地質学専攻長支援課学生課/視覚障害者支援課学生課	併用可	併用可
茨城大学	入学科免除	入学手続時		入学金・授業料免除	(対象者) ・入学前1年以内に入学者のうち、学費負担者が死亡した場合 ・入学前1年以内に入学者のうち、学費負担者が風水害等の災害を受けた場合 (留意事項) ・その他やむを得ない事情がある場合	免除・減免	入学科の全額又は半額			入学年度のみ	基準に該当する者全員を対象としている	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可
	授業料免除	入学後		入学金・授業料免除	(対象者) ・学業優秀者が非課税、又は学生本人が社会的責任を必要とする者である場合 ・経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が認められる場合 ・相親族の収入が(個人収入の平均)を超過している場合(入学前1年以内)において学費負担者が死亡し、又は学生本人が学費負担者が風水害等の災害を受けた場合、授業料の納付が滞りし状態であると認められる場合 ・その他やむを得ない事情がある場合 (留意事項) ・学業優秀者及び学費負担者に関する規定に基づき、学費負担者が死亡し、又は学生本人が学費負担者が風水害等の災害を受けた場合、授業料の納付が滞りし状態であると認められる場合	免除・減免	授業料の全額又は半額若しくは1/4額を免除			半期ごと	基準に該当する者全員を対象としている	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可
	授業料徴収抑制制度	その他	前期:3月頃 後期:9月頃	その他	授業料の徴収抑制	学業優秀者及び学費負担者に関する規定に基づき、学費負担者が死亡し、又は学生本人が学費負担者が風水害等の災害を受けた場合、授業料の納付が滞りし状態であると認められる場合	その他	納付する必要がある全額					地域の制限なし	地質学専攻長支援課学生課/視覚障害者支援課学生課	併用可
筑波大学	筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」	在学中		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援 その他	申請時期については大学ホームページ/キャンパスライフ/奨学金・学生生活の支援/奨学金・修学支援/筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」を参照してください。	給付奨学金	{1}一時金20万円 {2}学費月額8万円、大学月間給5万円 {3}授業料の滞り金を免除(上限2万円) {4}一時金10万円 {5}一時金10万円		{1}1回限り {2}1年間 {3}3ヶ月 {4}1回限り {5}1回限り	{1}予算の範囲内で申請のあった数 {2}予算の範囲内で申請のあった数 {3}約50名 {4}約50名 {5}約50名	地域の制限なし	学生部学生生活課経済支援	併用可	併用可	
	筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」	在学中		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援 その他	申請時期については大学ホームページ/キャンパスライフ/奨学金・学生生活の支援/奨学金・修学支援/筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」を参照してください。	給付奨学金	{1}一時金20万円 {2}学費月額8万円、大学月間給5万円 {3}授業料の滞り金を免除(上限2万円) {4}一時金10万円 {5}一時金10万円		{1}1回限り {2}1年間 {3}3ヶ月 {4}1回限り {5}1回限り	{1}予算の範囲内で申請のあった数 {2}予算の範囲内で申請のあった数 {3}約50名 {4}約50名 {5}約50名	地域の制限なし	学生部学生生活課経済支援	併用可	併用可	
	筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」	在学中		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援 その他	申請時期については大学ホームページ/キャンパスライフ/奨学金・学生生活の支援/奨学金・修学支援/筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」を参照してください。	給付奨学金	{1}一時金20万円 {2}学費月額8万円、大学月間給5万円 {3}授業料の滞り金を免除(上限2万円) {4}一時金10万円 {5}一時金10万円		{1}1回限り {2}1年間 {3}3ヶ月 {4}1回限り {5}1回限り	{1}予算の範囲内で申請のあった数 {2}予算の範囲内で申請のあった数 {3}約50名 {4}約50名 {5}約50名	地域の制限なし	学生部学生生活課経済支援	併用可	併用可	
群馬大学	入学検定免除	学校出願時		協賛者資金支援	群馬大学の受給者であって、東日本大震災及び風水害等の災害に罹った志願者が対象	免除・減免	学費入試17,000円 輸入試験:大学入試 30,000円 専攻科入試 16,500円		出願時	制なし	地域の制限なし	学務部学生入試課	併用可	併用可	
	群馬大学学生海外派遣支援事業奨励金	在学中		留学費用支援制度	(3)全学対象(JASSO海外留学支援制度との併用は認めない) (1)派遣先機関(学生生活支援課)からの推薦書(1年以上1年以内の留学期間)に参加する本学の正規課程に在籍する学部生及び大学院生 (2)本学が実施する海外研修プログラムに参加する本学の正規課程に在籍する学部生及び大学院生 (3)その専攻長が認める海外研修プログラムに参加する本学の正規課程に在籍する学部生及び大学院生 (4)前年度から、学長が特に認められている者(専攻長が認める本学の正規課程に在籍する学部生及び大学院生)	給付奨学金	対象事業の内容、人数、期間及び地域を勘案し、役員会の議を経て学長が決定する。 GFL(グローバルボランティアリーダー)プログラムについては特別手当あり。		各参加学生のプログラム参加期間	予算の範囲内で決定	地域の制限なし	群馬大学学務部国際課	併用不可	併用不可	
	群馬大学基金による「派遣」経費補助事業」による奨学金	在学中		留学費用支援制度	日本学生支援機構(以下、「JASSO」といふ)海外留学支援制度奨学金等の受給決定者のうち、JASSO第1種奨学金の併用基準(併用基準)を満たしている学生	給付奨学金	JASSO 海外留学支援制度による奨学金と同額とし、詳細は以下のとおり。 「国家公務員の歳費に関する法律(昭和25年法律第14号)及び「国家公務員等の歳費支給規程(昭和25年政令第49号)」による地域別の区分により、月間で、指定区分は100,000円、甲地方は180,000円、乙地方は170,000円、丙地方は160,000円とする。GFLプログラムはJASSOの規程に基づき、JASSOの支給総額と同額まで支給する。群馬大学学務部海外留学支援事業奨励金を併用する学生は、これに併用する。 なお、オンライン留学期間は留学期間に関わらず30,000円を上限とする。			{1}3ヵ月以上の長期留学・研修(2ヵ月分) {2}3ヵ月未満の短期留学・研修(1ヵ月分) {3}オンライン留学期間:1回	年額30人程度(留学期間や専攻により変動する)	地域の制限なし	群馬大学学務部国際課	併用可	併用可
群馬大学基金「駆けろ、世界を！」グローバルチャレンジプログラム	在学中		学費費用支援制度	本学に在籍する正規学生あるいは正規学生で任意に構成する学生グループで「グローバルチャレンジプログラム」に採択された者	給付奨学金	特別給付金50万円(任意給当(実質)、授業料)プログラム参加費用、留学期間中の活動支援費用		1回		特に定めはない(採択件数は1年度に3回以内)	地域の制限なし	群馬大学学務部国際課	併用可	併用不可	
卓越した学生に対する授業料免除	在学中		全学年	入学金・授業料免除	群馬大学の学部及び大学院に在籍する卓越した学生を対象とする。	免除・減免	学費相当額		後期	4名	地域の制限なし	学務部学生支援課学生生活課	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
埼玉大学	【埼玉大学基金奨学金】自家ロケット奨学金	その他	4年次に在籍する学生から成績優秀な者を大学が選抜する	学費支援		理学部分子生物学および生物制御学科に在籍する4年次生から選抜する。支給は1回限り。	給付奨学金	年額2万円	1回限り	2名(各学科1名ずつ)	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可	
	【埼玉大学基金奨学金】MARELLI奨学金	在学中	11月頃	学費支援		理学部・工学部2～4年次生で経済的必要性のある者 ※3年次生は埼玉大学理工学部理工学研究所博士前期課程に進学予定であること。	給付奨学金	年額30万円	最長で博士前期課程2年次在籍まで	4名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用不可	
	【埼玉大学基金奨学金】エネルギーバール奨学金	入学後		学費支援		工学部情報工学科の在籍生から該当する者が大学が選抜する ※区分A：当該年度の後期授業料免除適用者のうち成績優秀な者 ※区分B：埼玉大学大学院理工学研究所博士前期課程へ進学が決まっている者のうち成績優秀な者	給付奨学金	年額5万円	1回限り	区分A・20名程度 区分B・15名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可	
	【埼玉大学基金奨学金】大冨平勲賞奨学金	在学中	2年次在籍時の5～7月頃 ※3年次生以上でも応募することがある	学費支援		教育学部・経済学部の2年次生より1名、理学部・工学部の2年次生より1名を募集。ただし日本入学生にに限る。	給付奨学金	年額30万円		3年間(4年次まで) ※毎年度、継続の審査を受ける	2名(2年次生から新編奨学学生を募集するが、他の学年で定員(定員不足に場合は募集を行わない)	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用不可
	【埼玉大学基金奨学金】デジタルペリ奨学金	在学中	毎年度5～9月	学費支援		看護学部生対象	給付奨学金	年額10万円	1回限り		4名(2023年度募集) ※各学科によって毎年異なる	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可
	【埼玉大学基金奨学金】真島(志方)明子奨学金	在学中	3年次生秋ごろ	学費支援		教育学部3年次生(日本人学生)	給付奨学金	年額3万円	1回限り	1回限り	1名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可
	【埼玉大学基金奨学金】高橋基礎工事奨学金	在学中	2・3年次生秋ごろ	学費支援		工学部環境社会学デザイン学科2～3年次生 ※3年次生は埼玉大学大学院理工学研究所に進学予定であること	給付奨学金	年額5万円	1回限り	1回限り	2名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可
	【埼玉大学基金奨学金】延昭奨学金	入学後		学費支援		教育学部4年次生から該当する者を大学が選抜する ※埼玉大学大学院博士前期課程工学部理工学研究所に進学する者のうち、経済的に困難している者	給付奨学金	年額10万円	1回限り	1回限り	2名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可
	【埼玉大学基金奨学金】大石奨学金	在学中	3・4年次6～7月頃	学費支援		工学部環境社会学デザイン学科3～4年次生(日本人学生) ※大学院生優先して選抜する	給付奨学金	年額10万円	1回限り	1回限り	2名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可
【埼玉大学基金奨学金】Max奨学金	入学後		学費支援		教育学部2年次生から該当する者が大学が選抜する ※経済的に困難している者のうち、成績優秀者	給付奨学金	年額2万円	1回限り	1回限り	3名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可	
千葉大学	経済的に困難かつ優秀な学生に対する奨学金	その他	各年度1回募集	特待生・成績優秀者		経済的に困難かつ優秀な成績を修めている学生に対し、奨学金を支給 授業料を免除する者より各学部及び大学院各課程成績優秀者1名	給付奨学金	年額10万円(変更の可能性あり)			地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	家計急変者への就学支援	その他	急変発生時	用途を定めない経済的支援		家計支持者の死亡や、風水害等の災害により家計が急変し、若し奨学金を支給(年間人数制限あり)	給付奨学金	10万円(変更の可能性あり)			地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
電気通信大学	UEC学域奨学金	入学後		その他	特待生	(優学生) 情報理工学域奨学金コースの1年次から4年次 (申請資格) 情報理工学域奨学金コースに在籍し、次のいずれにも該当する者 1. 1年次において一入入学試験を突破し入学した者。2年次生にあっては1年次の学業成績のGPAが2.5以上かつ修得単位数が15単位以上である者。3年次生にあっては1年次までの学業成績のGPAが2.5以上かつ修得単位数が25単位以上かつ2年次終了審査に合格している者。4年次生にあっては3年次までの学業成績のGPAが2.5以上かつ修得単位数が30単位以上かつ卒業論文を提出している者 2. 1年次入学以降、前年度までの在学期間が最長であること 3. 本学の教育活動及び社会貢献等に自ら積極的に、大学の発展に貢献する意欲のある者	給付奨学金	年額20万円の奨学金を2期に分けて5回支給			情報理工学域奨学金コースの1年次から4年次の各年次において所科として男子5名、女子5名	地域の制限なし	学生課学生係	併用可	併用可
	UEC成績優秀者特待生制度	その他	公募しない	特待生・成績優秀者		学域(情報理工学域)に在籍し、前年度までの学業成績に基づき決定	給付奨学金	年額50万円	1年間	学域(奨学金コース)2～4年生 各学科3名	地域の制限なし	学生課学生係	併用可	併用可	
東京大学	東京大学さつき会奨学金	その他	本学一般入試・推薦入試出願予定の1月1日(予定)	用途を定めない経済的支援		申請資格: 本学一般入試・推薦入試出願予定者で下記項目全てに該当する女子。 (1) 日本の高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は修了見込みの者。高等学校3年次を修了した者又は修了見込みの者。 (2) 本学1年次に入学予定の者で、本学に強く入学を志望する者。 (3) 本学入学者に自宅外から通学せざるを得ない者であること(自宅から大学までの通学時間が有料特急を利用しない場合に、徒歩を歩いて1時間30分以上)。 (4) 成績・人物とも優秀(調査書の学習成績欄評定がA以上)で、大学進学において経済的支援が必要と認められる者。 (5) 卒業(見込み)の高等学校長等(以下、「学校長」という。)が推薦する者。 (6) 入学後にさつき会が行う活動(年に1回を予定)に参加でき、さつき会の活動に積極的に参加できる者。 ※詳細は本学ホームページの下記参照 https://www.u-tokyo.ac.jp/students/welfare/h02_12.html	給付奨学金	①月額5万円 ②入学時に入学支援金(30万円)を支給	1年間	2人	①学士課程における標準修業年限の期間 ②入学時に1回限り		東京大学教育・学生支援部奨学課学生課奨学チーム	併用可	併用可
	東京大学学部学生奨学金	その他	出願する年度の1月中旬～下旬(予定)	用途を定めない経済的支援		申請資格: 本学一般入試・推薦入試出願予定者で下記項目全てに該当する者。 (1) 日本の高等学校又は中等教育学校を卒業した者または卒業見込みの者。高等学校3年次を修了した者または修了見込みの者。(高等学校卒業程度認定試験合格者を含む)。 (2) 本学1年次に入学予定の者で、本学に強く入学を志望する者。 (3) 成績・人物とも優秀(調査書の学習成績欄評定がA以上)で、大学進学において経済的支援が必要と認められる者。 (4) 卒業(見込み)の高等学校長等(以下、「学校長」という。)が推薦する者。 ※詳細は本学ホームページの下記を参照。 https://www.u-tokyo.ac.jp/students/welfare/h02_18.html	給付奨学金	年額50万円		入学後1年間	2名	地域の制限なし	東京大学教育・学生支援部奨学課学生課奨学チーム	併用可	併用可
東京医科歯科大学	小林育英会奨学金	在学中	前学科5年・口腔保健学科3年 成績優秀者より選出	特待生・成績優秀者		対象学年: 歯学部5年(4名)、口腔保健学科3年(2名) 資格・条件: 成績優秀者 給付目的: 進学教育助成のため	給付奨学金	給付額: 受給者1名あたり年額20万円(2021年度実績)を一括で給付。	一括での支給	歯学科4名、口腔保健学科2名	地域の制限なし	学生支援事務室	併用可	併用可	
	修学支援基金	在学中	全学年申請可能	用途を定めない経済的支援		対象学年: 学部別(全学若全学科) 資格・条件: 経済的理由により修学に困難な学生 給付目的: 経済的支援のため	給付奨学金	金額: 月額5万円を1年間給付(合計年額60万円)		1名	地域の制限なし	学生支援事務室	併用可	併用可	
	入学料減免制度(大学独自)	在学中	原則1年生	入学金・授業料減免		対象学年: 新入生 学部: 全学部 資格・条件: 入学前1年以内において、学部に入学者の学費を主として負担している者が死亡し、又は学部に入学者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けた者 目的: 経済的支援のため	免除・減免	入学料の全額及び半額			地域の制限なし	学生支援事務室	併用可	併用可	
	授業料減免制度(大学独自)	在学中	全学年	入学金・授業料減免		対象学年: 全学年 学部: 全学部 資格・条件: 経済的理由により授業料の給付が困難であり、かつ、学費優遇と認められる者 目的: 経済的支援	免除・減免	授業料の全額及び半額			地域の制限なし	学生支援事務室	併用可	併用可	
東京外国語大学	大学独自の授業料免除制度	入学後		入学金・授業料減免		学部生に対する授業料免除については高等教育の修学支援新制度による授業料免除を優先して実施しているため、まずは当該制度への申請を行うこと。なお、大学進学前の高校在籍時の予約採用のほか、入学後の在学採用への申請が可能。 高等教育の修学支援新制度の支援対象とならない者については、学費負担者の死亡や風水害等の震災といったやむを得ない事由による申請、コロナにおける家計急変による申請に対しては授業料免除を実施する。 上記の授業料免除については1年～4年生の全生員が対象。前半期の授業料免除申請は4月初旬、後半期の授業料免除申請は10月初旬にそれぞれ大学ウェブサイトで申請を可能とする。	免除・減免	全額免除、半額免除あるいは一部免除。				地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可
	大学独自の授業料免除制度	入学後		入学金・授業料減免		前半期と後半期に分けて授業料免除を実施	免除・減免				地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可	
東京学芸大学	学芸むさしの奨学金(緊急支援)	随時		用途を定めない経済的支援		家計支持者の死亡、重病若しくは重大な事故等により家計が急変し、または災害救助法、天災災害法等の適用を受ける地震・火災・風水害等の被害若しくはこれらに次ぎに基于る経済的困難により学費が急変し、修学が困難になつた者	給付奨学金	30万円又は15万円	1年単位につき1回限りの給付	若干名(予算の範囲内)	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	学芸むさしの奨学金(学費支援)	その他	1年生～4年生(各学期毎に申請)	学費支援		学部学生のうち、国の「高等教育の修学支援新制度」の家計基準・学業成績基準を満たしているにもかかわらず、年齢要件や真申請不可などの理由により、同制度の支援を受けられない学生。	給付奨学金	半額10万円	1回限り(各学期毎に申請)	半額15名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否		
東京芸術大学	安宅賞奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	美術及び音楽学部学生で成績優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	美術学部(学部・大学院)／24,000円 音楽学部／36,000円	1回限り	美術／20名 音楽／15名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	平山勉夫奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	美術学部学部学生及び大学院生で、優秀な成績を修めた者に対し奨学金を給付している。		給付奨学金	美術学部(学部・大学院)／200,000円	1回限り	11名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	〇氏記念賞奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	美術(学部・大学院)油画家の学生で、成績優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	美術学部(学部・大学院)／金額未定	1回限り	31年間6名程度	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	横賞奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	美術研究科絵画専攻(版画)学生で、成績優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	美術研究科絵画専攻(版画)／200,000円	1回限り	毎年1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	久米桂一郎奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	油画家及び彫刻科学生で、成績優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	美術学部油画(彫刻)／未定	1回限り	毎年7名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	藤原成実奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	工芸学生で成績優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	美術学部工芸科(学部・大学院)／未定	1回限り	毎年4名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	藤野安学	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	工学学生で成績優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	美術学部彫像(学部・大学院)美術系(学部)美術系(工学教育)／未定	1回限り	毎年2名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	吉田五十八奨学金(吉田五十八修了制作賞)	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	建築科学生で、成績優秀な者を対象に給付している。また、建築科大学院生で、修了制作が優秀な者を対象に支給している。		給付奨学金 その他	31吉田五十八奨学金対象者／給付額 美術学部建築(学部)2・3・4年／大学院／未定 2吉田五十八修了制作賞対象者(義彰社)大学院美術研究科修士課程(建築科)2年	1回限り	未定	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	長谷川良夫奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	作曲科学生で、成績優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	音楽学部作曲科4年／100,000円又は200,000円	1回限り	毎年2名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	松田トシ子奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	音楽学部音楽科の学生で、優秀な成績を修めた者に対し奨学金を給付している。		給付奨学金	音楽学部音楽科4年／200,000円	1回限り	毎年2名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	クロイツァー記念賞奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	楽楽ピアノ専攻学生で、成績優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	大学院音楽系研究科修士課程ピアノ2年／100,000円	1回限り	毎年1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	宮城賞奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	作曲専攻専攻学生で、成績優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	音楽学部音楽科(専攻)3・4年／100,000円	1回限り	毎年1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	宮実基金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	和楽科の学生で、成績優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	音楽学部音楽科4年／100,000円	1回限り	毎年1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	野村新吾賞奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	大学院美術研究科博士後期課程の学生で、特に優秀な者に給付している。		給付奨学金	大学院美術研究科博士後期課程／800,000円	1回限り	毎年4名程度	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	上野安次賞奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	油画(油画)、絵画専攻(油画・版画・壁画)油画家・材料科の学生で、学業成績優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	美術学部油画科(油画)絵画専攻(油画・版画・壁画)油画家・材料科／総額500,000円(1人100,000円)	1回限り	毎年5名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	伊達モリアル基金(アリアド・ムジカ賞)	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	ピアノ専攻の学生で成績優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	音楽学部ピアノ専攻2年／300,000円	1回限り	毎年1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	松弘唯のほせがわ賞奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	文化財保存学(保存修復)修了見込者で修士作品または修士論文が特に優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	大学院美術研究科修士課程文化財保存学(保存修復)修了見込者／500,000円の範囲で1名または複数名に給付および賞状授与	1回限り	毎年1〜2名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	武蔵舞基金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	音楽関連創造科および音楽科学生で成績優秀な者を対象にする奨学金と、音楽学部又は音楽研究科および音楽系創造科の学生の教育研究活動のための助成金として給付している。		給付奨学金	芸術創造奨学金(音楽系)音楽系創造科2名分の他、音楽関連創造科(学部生および大学院・音楽系音楽系、芸術系創造科)および音楽科(学部生・大学院生)から各1名、各200,000円 武蔵舞音楽系創造科教育研究助成金(音楽学部又は同大学院音楽系研究科および国際芸術創造研究科に在籍する学生)全学協会の申請となる事業(1件最大300,000円)(他成績優秀奨学金200万円まで)	1回限り	未定	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	中絶島賞奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	作曲専攻の大学院生で成績優秀な者を対象に給付する。		給付奨学金	作曲(大学院生)1名／50,000円	1回限り	毎年1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	北田文化財保存科奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	文化財保存学専攻保存修復科学研究分野修士後期課程修了見込者の学生で、修了論文が優秀な者を対象に給付する。		給付奨学金	文化財保存学専攻保存修復科学研究分野修士後期課程修了見込者1名または2名／1名100,000円	1回限り	未定	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	平山勉夫文化芸術基金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	美術及び音楽学部学生、美術・音楽・映像研究科大学院生で、優秀な成績を修めた者に対し奨学金を給付している。		給付奨学金	美術・音楽学部／200,000円、美術・音楽・映像・映画芸術創造研究科／300,000円	1回限り	毎年4名(美術・音楽・映像・映画)から各1名)	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	静岡銀行賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	文化財保存学において優秀な成績を修めた者に対し奨学金を給付している。		給付奨学金	美術研究科文化財保存学専攻の博士後期課程修了者／給付額未定	1回限り	毎年1名程度	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	最大クワイアール大賞・最大クワイアール賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	ピアノ科の学生で、成績優秀な者を対象に給付。		給付奨学金	音楽学部ピアノ科(学部・大学院)／200,000円(クワイアール大賞) 音楽学部ピアノ科(学部・大学院)／100,000円又は50,000円(クワイアール賞)	1回限り	毎年1名(クワイアール大賞) 未定(クワイアール賞)	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	京次郎二特待奨学生	入学手続時		特待生・成績優秀者	音楽学部・音楽研究科の学生で、次世代の音楽界を担うことが期待される者を選考し給付する。		給付奨学金	学部・音楽科ピアノ、弦楽、管打楽専攻 大学院 音楽専攻、オペラ専攻 入学料1,000,000円、在学期間内総額500,000円		修学奨励金(ただし、学部学生は3年連続給付に学内成績等により更新審査を行う)	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	最大デザイン賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	デザイン科学生で優秀な成績を修めた者に対しクワイアール賞と授与する。		その他	美術学部デザイン科学生・大学院美術研究科修士課程2年／クワイアール及び賞状	1回限り	毎年5名程度	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	最大デザインB賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	修了制作の芸術表現において顕著な創造性を発揮した者、又は独自の視点で新たな表現領域を開拓した者に対象に給付する。		その他	大学院美術研究科修士課程／未定	1回限り	毎年1〜2名程度	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	平成美術賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	美術学部卒業作品・卒業論文から特に優秀な認められる者を対象に給付する。		給付奨学金	美術学部4年／300,000円	1回限り	毎年7〜8名程度	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	篠原一郎奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	大学院美術研究科修士課程絵画専攻(油画)修士(材料)または大学院美術研究科修士後期課程(油画)に在籍する学生のうち、成績優秀な者を対象に給付する。		給付奨学金	大学院美術研究科修士課程(油画)／200,000円	1回限り	毎年1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	若杉メモリアル基金賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	音楽科の学生で、成績優秀な者を対象に給付する。		給付奨学金	音楽学部指揮科／200,000円	1回限り	毎年1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	長野孝子賞奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	音楽研究科博士後期課程(声楽)の学生で、成績優秀な者を対象に給付する。		給付奨学金	大学院音楽系研究科博士後期課程(声楽)／200,000円	1回限り	未定	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	毛利孝義奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	音楽研究科博士後期課程(声楽)の学生で、成績優秀な者を対象に給付する。		給付奨学金	大学院音楽系研究科博士後期課程(声楽)／30,000円	1回限り	未定	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	沢北奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	デザイン専攻の学生で、成績優秀な者を対象に給付する。		給付奨学金	デザイン専攻(学部3年・大学院)／200,000円	1回限り	毎年1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	Ariの力賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	美術学部4年・大学院美術研究科修士課程卒業・修了見込の学生のうち、成績優秀な者を対象に給付する。		給付奨学金	美術学部4年・大学院美術研究科修士課程2年／500,000円	1回限り	未定	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	早稲賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	美術学部及び大学院美術研究科修士課程卒業・修了見込の学生のうち、成績優秀な者を対象に給付する。		給付奨学金	美術学部4年・大学院美術研究科修士課程2年／300,000円	1回限り	毎年1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	宮田和乎奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	美術学部及び音楽学部の学生のうち、成績優秀な者を対象に給付する。		給付奨学金	美術学部3年生以上／100,000円 音楽学部3年生以上／80,000円	1回限り	美術学部3名 音楽学部10名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	あさかげ賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	大学院美術研究科博士後期課程を修了見込の学生のうち、論文の中で修士論文を書いた者で成績優秀な者を対象に給付する。		給付奨学金	大学院美術研究科博士後期課程／250,000円	1回限り	毎年1〜2名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	長塚実吉賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	三條線音楽専攻学生で、演技の成績を主に優秀な者を対象に給付している。		給付奨学金	音楽学部音楽科(三條線音楽)3・4年／25,000円	1回限り	毎年1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	成成越後賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	美術学部及び大学院美術研究科修士課程卒業・修了見込の学生のうち、成績優秀な者を対象に給付する。		給付奨学金	美術学部4年・大学院美術研究科修士課程2年／200,000円	1回限り	毎年1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	徳文栄成賞奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	音楽学部音楽科卒業見込の学生のうち、優秀な成績を修めた者に対し奨学金を給付する。		給付奨学金	音楽学部音楽科4年／30,000円	1回限り	未定	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	最大ピアノコンクール基金	入学後		特待生・成績優秀者	ピアノを専攻する学生(音楽系副学級生・学部生・大学院生・別科生)を対象として最大ピアノコンクールを開催し、コンクールにて優秀な成績を修めた者に対し奨学金を給付する。		給付奨学金	第1位／100,000円 第2位／60,000円 第3位／40,000円	1回限り	1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	JX金賞賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	銀賞研究室に在籍し、学業成績が特に優秀であると認められた者に給付する。		給付奨学金	銀賞専攻(美術学部・美術研究科)／200,000円	1回限り	1名	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	小川典子賞海外派遣奨学金	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	大学院音楽研究科にて声楽・オペラを専攻する学生のうち、海外音楽、研修その他海外における研究活動に希望する者に対し奨学金を給付する。		給付奨学金	大学院音楽研究科 声楽・オペラを専攻する学生／500,000円	1回限り	未定	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	最大音楽家エール大賞	その他	匿名制(申請不可)	特待生・成績優秀者	音楽学部及び大学院音楽研究科の正規生で、海外音楽、研修等を希望する者のうち、成績優秀な者に対し奨学金を給付する。		給付奨学金	音楽学部・大学院音楽研究科 正科生(声楽・オペラ、ピアノ、オルガン、弦楽、管打楽、室内楽、古楽)／400,000円	1回限り	未定	地域の制限なし	学生課奨学金	併用可	併用可		
	東京工業大学	大隈良典記念奨学金	その他	学校出願前	特待生・成績優秀者 学費支援	・音楽系科で高等専門学校に在学し、次の年の月に学士課程に入学を希望する者。学校は問わない。 ・学業成績が特に優秀(高等専門学校等の第1年次から卒業までの全科目の評定平均値が3.0以上)かつ、経済的支援が必要でない(学業の奨励向上が期待できる。 ・高等専門学校での在学期間中に成績優秀、卒業後、東京工業大学に入学し、入学後、特待生(優遇奨励金)として自費からの進学が可能な学生(地方出身者)か、または第4年制の大学を卒業していない(専攻・フェリス・フェリス・フェリス)のいずれか。 ・本人が入学する年度の税込年収の合計が給与所得の場合支払金額が800万円未満の者、給与所得外の場合所得金額が337万円未満の者。 ・日本国籍である者及び永住者等の在留資格を持つ者。		給付奨学金	月額5万円		最終修業年限	20名以内	地域の制限なし	学生支援課経済支援グループ	併用可	併用不可
		平島精一記念奨学金	在学中	学士課程2年次	特待生・成績優秀者 学費支援	・4月現在、学士課程2年次に在学する者。所属(院)系は問わない。 ・学業成績が特に優秀で、特に学業の奨励向上が期待できる者。 ・本人が入学する年度の税込年収の合計が給与所得の場合支払金額が800万円未満の者、給与所得外の場合所得金額が337万円未満の者。 ・日本国籍である者。		給付奨学金	月額5万円		最終修業年限	1名以内	地域の制限なし	学生支援課経済支援グループ	併用可	併用不可
多田記念奨学金【2023年度より募集開始】		在学中	学士課程在学者	特待生・成績優秀者 学費支援	・4月現在、学士課程2年次に在学する者。所属(院)系は問わない。 ・学業成績が特に優秀で、特に学業の奨励向上が期待できる者。 ・本人が入学する年度の税込年収の合計が給与所得の場合支払金額が800万円未満の者、給与所得外の場合所得金額が337万円未満の者。 ・日本国籍である者。		給付奨学金	月額3万円		最終修業年限	若干名	地域の制限なし	学生支援課経済支援グループ	併用可	併用可	
みらい館賞音楽系奨学金		その他	学校出願前 学士課程編入前	特待生・成績優秀者 学費支援	・音楽系科で高等専門学校に在学し、次の年の月に学士課程に入学を希望する者。編入を希望する学院・系は問わない。 ・学業成績が特に優秀で、特に学業の奨励向上が期待できる者。 ・学生支援課音楽系奨学金に在学する学生との併用可。 ・音楽系科に在学し、入学後、東京工業大学に入学し、入学後、特待生(優遇奨励金)として自費からの進学が可能な学生(地方出身者)か、または第4年制の大学を卒業していない(専攻・フェリス・フェリス・フェリス)のいずれか。 ・本人が入学する年度の税込年収の合計が給与所得の場合支払金額が800万円未満の者、給与所得外の場合所得金額が337万円未満の者。 ・日本国籍である者。		給付奨学金	月額5万円		最終修業年限	2名以内	地域の制限なし	学生支援課経済支援グループ	併用可	併用可	
横濱国際交流会館		その他	2月上旬から2月中旬	奨励制	対象：学部、大学院の新生および在学者が対象 資格：世帯収入100万円以下(給与収入)、492万円以下(給与外収入) 入居期間：2年以上		その他	賃料 5,700円/月 共益費 5,040円/月 ※共益費にはインターネット代を含む。 ※電気代、水道代は別途負担。		地域の制限なし	1名	地域の制限なし	学生・国際戦略部学生支援課経済支援	条件有りて併用可	条件有りて併用可	
大岡インターナショナルレジデンス	随時		奨励制	対象：学部、大学院学生・特になし 入居期間：修業年限		その他	【ワンルーム】 賃料 33,000円/月 共益費 10,000円/月 入居一時金 55,000円 ※共益費にはインターネット代、水道代を含む。 ※電気代、インターネット代は別途負担。 【1K】 賃料 40,000円/月 共益費 7,000円/月 入居一時金 66,000円 ※共益費にはインターネット代を含む。 ※電気代、水道代は別途負担。		地域の制限なし	1名	地域の制限なし	学生・国際戦略部学生支援課経済支援	併用可	併用可		
電通インターナショナルレジデンス	随時		奨励制	対象：資格：本学学生・特になし 入居期間：修業年限		その他	【コンパクトタイプ】 賃料 32,500円/月 共益費 6,000円/月 水道光熱費 13,200円/月 入居一時金 55,000円 【ライブタイプ】 賃料 43,500円/月 共益費 8,000円/月 水道光熱費 13,200円/月 入居一時金 55,000円 ※水道光熱費には電気・ガス・水道・インターネット代を含む。		地域の制限なし	1名	地域の制限なし	学生・国際戦略部学生支援課経済支援	併用可	併用可		
YNU大澤奨学金	在学中	学部2年生		用途を定めない経済的支援	本学の学部の正規課程に在籍する2年生の日本人学生(外国人留学生は対象外)で、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者を対象とする。原則として、他の給付型奨学金との併給は不可とするが、高等教育の修学支援新制度による日本学生支援機構給付奨学金については併給を可とする。奨学金に併用可能な奨学金は、併用可とする。		給付奨学金	90,000円/月額		学部卒業までの3年間支給。引き続き本学大学院修了(博士前期課程)に在学する場合は、修士(博士前期)課程2年間も支給。継続審査あり。	地域制なし	学生・国際戦略部学生支援課経済支援	併用可	併用不可		
Y60奨学金(ショートビジョン奨学金)	在学中	全学年		留学費用支援制度	本学に在籍する学部生および大学院生 成績、家計の基準有		給付奨学金	90,000円/名	1回限り	予算による	地域の制限なし	学生・国際戦略部グローバル推進課留学交流	併用不可	条件有りて併用可		
国際学術交流奨励事業(国際会議出張・海外調査研究等)	在学中	全学年		研修支援制度 研究費支援 課外活動支援制度	本学に在籍する学部生および大学院生		給付奨学金	100,000円・150,000円・200,000円(地域により異なる)・30,000円(オンライン参加)	1回限り	予算による	地域の制限なし	学生・国際戦略部グローバル推進課留学交流	併用可	条件有りて併用可		
YNU井澤孝子記念奨学金	在学中	学部1年生		用途を定めない経済的支援	本学の学部の正規課程に在籍する1年生の日本人学生(外国人留学生は対象外)で、母子父子家庭または困難な状況にある者で、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者を対象とする。原則として、他の給付型奨学金との併給は不可とするが、高等教育の修学支援新制度による日本学生支援機構給付奨学金については併給を可とする。奨学金に併用可能な奨学金は、併用可とする。		給付奨学金	50,000円/月額		学部卒業までの4年間支給。継続審査あり。	地域の制限なし	学生・国際戦略部学生支援課経済支援	併用可	併用不可		
横浜国立大学交換留学(派遣)奨学金	在学中	どの学年でも支給可。交換留学に派遣される時に支給。		留学費用支援制度	本学に在籍する学部生および大学院生		給付奨学金	6〜9万円/月(日本学生支援機構海外協定国との金額と地域に準ずる)	派遣期間	予算範囲内による(JASSO採択)のうえに2名以内	地域の制限なし	学生・国際戦略部学生支援課経済支援	併用不可	併用不可		
新入生スタートアップ支援金	その他	入学時のみ3〜4月初旬募集		用途を定めない経済的支援	本学の学部の正規課程に入学者1年生の日本人学生(外国人留学生は対象外)で、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者、若年層が271万円未満(税込)の世帯の者)を対象とする。他の奨学金との併給は可。		給付奨学金	150,000円/7回	1回限り	20名程度	地域の制限なし	学生・国際戦略部学生支援課経済支援	併用可	併用可		
八橋わじ・鈴木建吾奨学金	在学中	学部2年生・修士(博士前期)課程1年生		用途を定めない経済的支援	学部生または大学院の正規課程に在籍する日本人学生(外国人留学生は対象外)で、以下の条件を満たしており、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者を対象とする。 ・(学部生)経済学部、経営学部、都市科学部都市社会共済学科の2年生 ・(大学院生)先進理工学専攻修士課程の1年生または理工学専攻、環境情報学部、都市イノベーション工学専攻の修士課程前期1年生 原則として、他の給付型奨学金との併給は不可とするが、高等教育の修学支援新制度による日本学生支援機構給付奨学金については併給を可とする。奨学金に併用可能な奨学金は、併用可とする。		給付奨学金	100,000円		派遣期間1回から2回まで1人1回のみの	1名	地域の制限なし	学生・国際戦略部学生支援課経済支援	併用可	併用不可	
横浜国立大学学術交流奨励事業(交換留学派遣奨学金)	在学中	どの学年でも支給可。交換留学に派遣される時に支給。		留学費用支援制度	日本学生支援機構の給付奨学金を除く。授業料免除選考基準に該当する1〜4年生の学校教育学部学生を対象とする。		給付奨学金	前期・後期各 80,000円		10名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有りて併用可		

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
山梨大学	山梨大学特別進学生制度	その他	各学部の最優秀者に在籍し、学業、人物ともに優秀である者を各学部から選出。	特待生・成績優秀者	学業成績が特に優れ、かつ人物優秀と認められる学部の最優秀者に在籍する学生。		免除・減免	当該年度の半期授業料の全額(267,000円)	1回限り、一括	教育学部3名、医学部4名、工学部7名、生命環境学部4名	地域の制限なし	教育学部学生支援課	併用可	併用可	
	山梨大学成績優秀表彰	その他	各学部の3学年(医学部医学科は4学年)に在籍し、学業、人物ともに優秀である者を各学部において選出	特待生・成績優秀者	・学業成績が特に優れ、かつ本学学生の成績と認められる者であること ・学部の最優秀生(医学部医学科4年次生)であること ・成績基準は、該課又は学部における前年度までの学業成績が上位10分の1以内であること		給付奨学金	10万円	一括		地域の制限なし		併用可	併用可	
	山梨大学秋山勝彦グローバル人材育成奨学支援金制度	その他	工学部、4月1月の国際学会発表および海外遠征に対して7月に募集、10月～1月の国際学会発表および海外遠征に対して11月に募集、医学部:随時	留学費用支援制度 国際活動支援制度	工学部 以下①～③が支援対象となる ① 学生海外派遣事業 ② 大学院生国際学会等参加支援事業 ③ 若手研究者海外派遣事業 医学部 ① 学生海外派遣事業 ・対象学年:学部、医学部または医学系大学院に在籍する学生(留學生を除く) ・資格・条件:本学協定校への留學生または本学が実施する海外研修プログラムへの参加 ② 大学院生国際学会等参加支援事業 ・対象取/学部:医学系大学院生 ・資格・条件:募集年度中に指導教員等と共に海外の国際学会等に参加し、口頭またはポスター発表を行うこと ③ 若手研究者海外派遣事業 ・対象学年:学部、医学部に在籍する研究者または講師 ・資格・条件:募集年度の4月1日において30歳以下の者	工学部 ① 学生海外派遣事業(期間:1年) ① 学生海外派遣事業(約1年)20万円/件 ② 大学院生国際学会等参加支援事業(1万円)20万円/件 医学部 ① 遠征先:留学期間によって異なる。(医学部の範囲により併用が認められている奨学金を除き、他の助成を受ける場合、その金額が差し引かれる) ② 遠征先によって異なる。(他の助成を受ける場合、その金額が差し引かれる) ③ 10万円(他の助成を受ける場合、その金額が差し引かれる)	定めたれた額を申請者の銀行口座へ振り込み。(支払は一部)	工学部:工学域支援課教務グループ/医学部:医学部支援課留學生担当	条件有りで使用可	条件有りで使用可					
	山梨大学海外留付研修プログラム事業	その他	12月～1月	留学費用支援制度	対象学年:全学年 学部:全学部 対象となる留学:海外の本学協定大学等において行われる学習または研究を目的とし、国際交流委員会が承認した対象者(派遣支援金の受給を希望する本学在学の正規の学生で学部等が承認した者)	6か月以上の留学等を行う学生1人につき10万円 6か月未満の留学等を行う学生1人につき30万円(単位により次の通りとする: ・A地域(中国、台湾、大韓民国、モンゴル) 5万円 ・B地域(A地域以外のアジア、オーストラリア、ゼイロン) 6万円 ・C地域(北米(地域域以外のアジアを含む南米地域、カナダ)A及びB地域以外の地域) 7万円 など。他の奨学金が支給される場合で、その奨学金等の総額が本派遣支援金を下回る場合には、差額等の総額と派遣支援金との差額を支給することができる。それ以外の場合において併給は認めない	給付奨学金				地域の制限なし	国際部グローバル推進課			
	山梨工業奨学基金制度	在学中	学年の指定なし	学費支援	山梨大学工業会に加入していること(支給決定後でも可) ・成績優秀でかつ経済的に困難している学生 ・在学中に経済的に困難であることが確認された学生 ・工学部、生命環境学部、専攻課程工学専攻、修士課程生命環境学専攻の学生	山梨大学工業会に加入していること(支給決定後でも可) ・成績優秀でかつ経済的に困難している学生 ・在学中に経済的に困難であることが確認された学生 ・工学部、生命環境学部、専攻課程工学専攻、修士課程生命環境学専攻の学生		給付奨学金	30万円	一括	6～7人程度	地域の制限なし	工学域支援課	併用可	併用可
信州大学	授業料免除	入学後	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	日本学生支援機構給付奨学金の不採用者または対象外で、大学の定める算定基準・学力基準を満たす場合		免除・減免	授業料の1/3免除	各学期ごと	予算の範囲内で実施	地域の制限なし	学生総合支援センター	併用不可	併用可	
	信州大学知の森基金 入学サポート奨学金	その他	総合型選抜、学校推薦型選抜出願者は9月上旬、前期日程出願者は12月上旬	用途を定めない経済的支援	①日本の高等学校又は中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者。 ②日本の総合型選抜、学校推薦型選抜又は一般選抜(前期日程)に出願を予定し、合格した場合に、入学者のことを確約できる者。 ③在学種別特許の令和6年度(令和7年度)の学費が125万円(給与収入の上限は400万円～600万円)以下である者。		給付奨学金	10～40万円 ※日本学生支援機構給付奨学金の採用状況により給付額が決定します	1回	20名程度	地域の制限なし	学生総合支援センター	併用可	併用可	
	信州大学知の森基金 吉川建設奨学金	在学中	3年生及び4年生	用途を定めない経済的支援	工学部次環境・土木工学科及び建築工学科の3年生及び4年生のうち成績上位者	工学部次環境・土木工学科及び建築工学科の3年生及び4年生のうち成績上位者		給付奨学金	15～36.5万円	1回	12名	地域の制限なし	学生総合支援センター	併用可	併用可
	信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための学生への海外活動(交換留学)支援	その他	・1次募集出願締切:7月上旬 ・2次募集出願締切:1月上旬	留学費用支援制度	本学卒業生・研究者 ・本学の在学中で、出国前(帰国前)まで3ヶ月以上長期を海外の大学に交換留学する者 ・令和4年度中に海外に渡航し、留学を開始する者	本学卒業生・研究者 ・本学の在学中で、出国前(帰国前)まで3ヶ月以上長期を海外の大学に交換留学する者 ・令和4年度中に海外に渡航し、留学を開始する者		給付奨学金	・100,000円(入) (3ヶ月以上6か月未満) ・300,000円(入) (6ヶ月以上1年以上)	1派遣につき1回支給	年間16名程度	地域の制限なし	国際部 国際企画課	併用不可	条件有りで使用可
	信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための学生への海外活動(短期)支援	その他	学生個人ではなくプログラム単位での応募 第1次募集締切:7月上旬 第2次募集締切:11月上旬	留学費用支援制度	採択されたプログラムに参加する学生で、 ・短期プログラムの全日程(学期)、帰国後を受け入れ本校学生 ・選抜に短期派遣プログラムまたは短期プログラムで当該支援を受けていない学生	採択されたプログラムに参加する学生で、 ・短期プログラムの全日程(学期)、帰国後を受け入れ本校学生 ・選抜に短期派遣プログラムまたは短期プログラムで当該支援を受けていない学生		給付奨学金	JASSOが定める支援地域区分に応じた支援額から7万円を引いた金額を支給する 指定地域 70,000円 甲地区 70,000円 乙地区 60,000円 丙地区 50,000円	1回限り	年間140名程度(予算中(中)別当り可能な人数への支援)	地域の制限なし	国際部 国際企画課	併用不可	条件有りで使用可
岐阜大学	岐阜大必須奨学生	その他	・11月頃に募集開始 ・各学部等による選考	特待生・成績優秀者	・留学期間、配属先等の学生を除く在学学生 ・学業成績が優秀で、人格等が優れている者		給付奨学金	月額3万円	1年間	12名	地域の制限なし	学務部学生支援課学生支援係	併用可	併用可	
	岐阜大学短期留学(派遣)奨学金	その他	掲示等にて通知	留学費用支援制度	岐阜大学と学術国際交流協定を締結している外国の大学に留学する学生		給付奨学金	・1月～6月(留学期間中) ・10万円または15万円(一括支給)	1年以内	大学全体で6名以内	地域の制限なし	学務部国際事業課留学支援室留学支援係	条件有りで使用可	条件有りで使用可	
	岐阜大学短期海外研修奨学金	その他	2月・6月・10月	留学費用支援制度	外国の高等教育機関等で6か月未満の短期研修(語学研修、実習、短期研修プログラム等)を行う学部学生。	外国の高等教育機関等で6か月未満の短期研修(語学研修、実習、短期研修プログラム等)を行う学部学生。		給付奨学金	最大9万円(一括)	1回限り	56名以内	地域の制限なし	学務部国際事業課留学支援室留学支援係	条件有りで使用可	条件有りで使用可
	岐阜大学創立70周年記念アビド奨学金	その他	・11月頃に募集開始 ・各学部等による選考	特待生・成績優秀者	・工学部及び応用生物科学部の第2年次の学生 ・奨学効果が顕著で、かつ、入籍及び第1年次の学業成績が優れた学生	・工学部及び応用生物科学部の第2年次の学生 ・奨学効果が顕著で、かつ、入籍及び第1年次の学業成績が優れた学生		給付奨学金	年間40万円	3年間	工学部・応用生物科学部 各2名	地域の制限なし	学務部学生支援課学生支援係	併用可	併用可
	ウエスタンデジタル奨学金	その他	・10月頃に募集開始	その他	・漢学、工学部、応用生物科学部の第2年次以上の学生 ・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳のいずれかを保有する正規生	・漢学、工学部、応用生物科学部の第2年次以上の学生 ・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳のいずれかを保有する正規生		給付奨学金	月額5万円	1年間	2名(大学院生含む)	地域の制限なし	学務部学生支援課学生支援係	併用可	併用可
静岡大学	成績優秀者に対する授業料免除制度	随時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	①対象 1)学生課程の第3学年 2)学生課程の第4学年 3)修士課程の第1学年 4)博士課程の学生 5)フェローシップ事業、類似分野の学生 ②基準 本学が定める成績基準による 学生個人入籍している学生で、授業料免除を申請している者のうち、授業料が全額免除となった場合。	免除・減免	半期授業料(①～⑤)、入学科免除(⑥)	半期	17名 ②4名 ③14名 ④授業料半期15名程度、入学16名程度 ⑤半期16名程度	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可		
	「愛知教育大学奨学金 ひらく」学費支援奨学金	随時		学費支援	学生個人入籍している学生で、授業料免除を申請している者のうち、授業料が全額免除となった場合。	免除・減免	10万円一括で支給 (大学院生・専攻履修生及び特別支援教育特別専攻生は5万円)	地域の制限なし	学生支援課 奨学支援係	併用可	併用可				
	「愛知教育大学奨学金 ひらく」緊急支援奨学金	随時		その他	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援	給付奨学金	給付額 10万円を一括で支給(ただし、申請者の属する世帯の経済状況が高い場合は、20万円)	地域の制限なし	学生支援課 奨学支援係	併用可	併用可			
豊橋技術科学大学	海外留学に関する支援事業1	在学中	学部3～4年生(地域協働教育体験活動(多文化体験領域))の履修可能時期	留学費用支援制度	学部3～4年生で地域協働教育体験活動(多文化体験領域)の履修により海外へ派遣する者のうち、日本学生支援機構の給付奨学金または授業料の償還により授業料の助成が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者		給付奨学金	遠航先の地域・都市により、独立行政法人日本学生支援機構が実施する海外留学支援制度(協定派遣)により支給される奨学金月額を基準に、本学が別に定める額	1回の履修につき1回まで	予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課 奨学支援係	併用可	併用可	
	海外留学に関する支援事業2	その他	交流協定大学への派遣留学応募者	留学費用支援制度	派遣留学生のうち成績上位者		給付奨学金	留学期間中 5万円/月	留学期間中(6か月以上1年以上以内)	3名程度	国際企画課	併用不可	条件有りで使用可		
	優秀学生支援制度(新入生支援)	その他	入試成績優秀者が選出されるため、申請は不要です。	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	学部1年次の入籍において、成績優秀な入学者3名、推薦入試(工業)に関する学科学)、一般選抜の成績最上位者から各1名、合計3名。	学部1年次の入籍において、成績優秀な入学者3名、推薦入試(工業)に関する学科学)、一般選抜の成績最上位者から各1名、合計3名。		給付奨学金	入学後、30万円の奨学金を支給(1回限り)	入学後1回限り	3名	地域の制限なし	学生課生活支援係	併用可	併用可
	特別優秀学生支援制度(学部3年次編入学生支援)	学校出願時		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	学部3年次推薦入試合格者のうち支援希望者(高等専門学校の全体の評定平均値が4以上、かつ、再履修科の4年次成績が上位10%のうち、20名程度)。	学部3年次推薦入試合格者のうち支援希望者(高等専門学校の全体の評定平均値が4以上、かつ、再履修科の4年次成績が上位10%のうち、20名程度)。		給付奨学金	年間60万円または年間2万円(年5回に分けて支給)	2年間	20名程度	地域の制限なし	学生課生活支援係	併用可	併用可
	優秀学生支援制度(在学学生支援)	その他	成績優秀者が選出されるため、申請は不要です。	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	学業等の成績優秀者	学業等の成績優秀者		給付奨学金	年間276,000円(年2回に分けて支給)	1年間	若干名	地域の制限なし	学生課生活支援係	併用可	併用可
名古屋大学	優秀学生支援制度(在学学生支援)	在学中	学部1年次～4年次の学生で、独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金奨学生かつ2023年度前期授業料免除採用者(申請中の場合も応募可)、ただし、特別優秀学生奨学金受給者を除く。	用途を定めない経済的支援	学部1年次～4年次の学生で、独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金奨学生かつ2023年度前期授業料免除採用者(申請中の場合も応募可)、ただし、特別優秀学生奨学金受給者を除く。		給付奨学金	年間24万円(半額を前期と後期に分けて支給)	2年間または最長修業年限	1名	地域の制限なし	学生課生活支援係	併用可	併用可	
	教育研究支援基金による奨学金	在学中	学部1年次～4年次(6月頃募集)	用途を定めない経済的支援	学部1年次～4年次の学生で、独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金奨学生かつ2023年度前期授業料免除採用者(申請中の場合も応募可)、ただし、特別優秀学生奨学金受給者を除く。		給付奨学金	年間24万円(半額を前期と後期に分けて支給)	2年間または最長修業年限	2名	地域の制限なし	学生課生活支援係	併用可	併用可	
	名古屋大学下駄の鼻緒奨学金	在学中	学部又は大学院の最終学年の者	用途を定めない経済的支援	「お礼は次の期について記入し」、下記の基準が切れた際、繰入の基準を満たした女性の卒業生に、本学卒業生が設立した奨学金です。成績優秀でありながら経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を授与しています。	「お礼は次の期について記入し」、下記の基準が切れた際、繰入の基準を満たした女性の卒業生に、本学卒業生が設立した奨学金です。成績優秀でありながら経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を授与しています。		給付奨学金	年間60万円	1回限り	4名程度	地域の制限なし	教育推進部学生支援課	併用可	条件有りで使用可
	名古屋大学ホスピタリティ奨学金	在学中	3年次及び前期試験1年次	用途を定めない経済的支援	工学部(情報科学の学部のうち、工学部に関連する学科学を含む)3年次、工学部研究科(情報科学研究科及び環境科学研究科の専攻のうち、工学研究科に関連する専攻を含む)博士前期課程1年次	工学部(情報科学の学部のうち、工学部に関連する学科学を含む)3年次、工学部研究科(情報科学研究科及び環境科学研究科の専攻のうち、工学研究科に関連する専攻を含む)博士前期課程1年次		給付奨学金	年間144万円	1回限り	1名	地域の制限なし	教育推進部学生支援課	併用可	条件有りで使用可
	名古屋大学特定基金エンゼルシグメント奨学金	在学中		用途を定めない経済的支援	民間企業からの奨学金等を目的とした特別に基づき、経済的理由により修学困難な学業成績優秀者または学業成績優秀な学生に対し、奨学金を給付します。民間企業名を冠した奨学金で、対象学生を応募します。	民間企業からの奨学金等を目的とした特別に基づき、経済的理由により修学困難な学業成績優秀者または学業成績優秀な学生に対し、奨学金を給付します。民間企業名を冠した奨学金で、対象学生を応募します。		給付奨学金	年間50万円	1年間	年度により異なる	地域の制限なし	教育推進部学生支援課	併用可	併用可
三重大学	三重大学生物資源学部長論文2奨学金	在学中	3年生	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援	三重大学生物資源学部長論文2奨学金(外国人留學生を除く)であって、次の各号のいずれかに該当する者。 ①(1)奨学金の生活が困難していると思われる人 (2)将来、要領、要領等困難に携わる見込みがあると認められる者 ②(1)が該当し、学業が優れ、かつ、心身共に健康であると認められる者 (4)助成が必要と認められる者		給付奨学金	年間40万円	2年間	2名	地域の制限なし	生物資源学研究所1チーム総務担当	併用可	併用可	
	三重大学医学部附属看護学学生奨学金	在学中	2年生以上	学費支援 用途を定めない経済的支援	看護部・助産部を養成する学校・専門学校等に在学中の方(2年生以上)で、免許取得後、三重大学医学部附属病院の看護部・助産部として勤務を希望する者	看護部・助産部を養成する学校・専門学校等に在学中の方(2年生以上)で、免許取得後、三重大学医学部附属病院の看護部・助産部として勤務を希望する者	奨与奨学金	月額5万円(卒業後、看護部・助産部の助成を取消し、三重大学医学部附属病院に採用され、一定期間勤務したときは返還を免除)	1年度限り	10名	地域の制限なし	三重大学医学部・病院管理 教務課 人事係	併用可	条件有りで使用可	
	三重大学医学部附属看護学学生奨学金	在学中	2年生以上	学費支援 用途を定めない経済的支援	看護部・助産部を養成する学校・専門学校等に在学中の方(2年生以上)で、免許取得後、三重大学医学部附属病院の看護部・助産部として勤務を希望する者	看護部・助産部を養成する学校・専門学校等に在学中の方(2年生以上)で、免許取得後、三重大学医学部附属病院の看護部・助産部として勤務を希望する者	奨与奨学金	月額5万円(卒業後、看護部・助産部の助成を取消し、三重大学医学部附属病院に採用され、一定期間勤務したときは返還を免除)	1年度限り	10名	地域の制限なし	三重大学医学部・病院管理 教務課 人事係	併用可	条件有りで使用可	
	三重大学医学部附属看護学学生奨学金	その他	奨学金(9月中旬)募集(4月下旬)	その他	海外実習教員の一部助成	三重大学医学部に在籍する学生であって、次の各号に該当する者とする (1)経済的理由により修学が困難な学生(外国人留學生を除く)であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。 ①(1)奨学金の生活が困難していると思われる人 (2)将来、要領、要領等困難に携わる見込みがあると認められる者 ②(1)が該当し、学業が優れ、かつ、心身共に健康であると認められる者 (4)助成が必要と認められる者		給付奨学金	実質又は15万円(のいずれか低い額)	一度限り	7名程度	地域の制限なし	医学・病態管理部 学課課	併用可	併用可
	三重大学教育学部同窓会奨学金	入学後		学費支援 用途を定めない経済的支援	三重大学教育学部同窓会委員・父母連絡会 入会者	三重大学教育学部同窓会委員・父母連絡会 入会者		奨与奨学金	30万円	一度限り	10名	地域の制限なし	三重大学教育学部同窓会	併用可	併用可
滋賀医科大学	入学料の減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免	三重大学工学部に在籍する第3年次の学生(外国人留學生を除く)であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。 ①(1)経済的理由により修学が困難な学生(外国人留學生を除く)であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。 ②(1)奨学金の生活が困難していると思われる人 (2)将来、要領、要領等困難に携わる見込みがあると認められる者 ③(1)が該当し、学業が優れ、かつ、心身共に健康であると認められる者 (4)助成が必要と認められる者		免除・減免	267,000円	入学時	予算の範囲内で決定	地域の制限なし	国際・情報部 国際交流チーム	併用可	併用可	
	授業料の減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免	三重大学工学部に在籍する第3年次の学生(外国人留學生を除く)であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。 ①(1)経済的理由により修学が困難な学生(外国人留學生を除く)であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。 ②(1)奨学金の生活が困難していると思われる人 (2)将来、要領、要領等困難に携わる見込みがあると認められる者 ③(1)が該当し、学業が優れ、かつ、心身共に健康であると認められる者 (4)助成が必要と認められる者		免除・減免	267,000円	入学時	予算の範囲内で決定	地域の制限なし	国際・情報部 国際交流チーム	併用可	併用可	
	授業料の減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免	三重大学工学部に在籍する第3年次の学生(外国人留學生を除く)であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。 ①(1)経済的理由により修学が困難な学生(外国人留學生を除く)であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。 ②(1)奨学金の生活が困難していると思われる人 (2)将来、要領、要領等困難に携わる見込みがあると認められる者 ③(1)が該当し、学業が優れ、かつ、心身共に健康であると認められる者 (4)助成が必要と認められる者		免除・減免	267,000円	入学時	予算の範囲内で決定	地域の制限なし	国際・情報部 国際交流チーム	併用可	併用可	
	授業料の減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免	三重大学工学部に在籍する第3年次の学生(外国人留學生を除く)であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。 ①(1)経済的理由により修学が困難な学生(外国人留學生を除く)であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。 ②(1)奨学金の生活が困難していると思われる人 (2)将来、要領、要領等困難に携わる見込みがあると認められる者 ③(1)が該当し、学業が優れ、かつ、心身共に健康であると認められる者 (4)助成が必要と認められる者		免除・減免	267,000円	入学時	予算の範囲内で決定	地域の制限なし	国際・情報部 国際交流チーム	併用可	併用可	
	授業料の減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免	三重大学工学部に在籍する第3年次の学生(外国人留學生を除く)であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。 ①(1)経済的理由により修学が困難な学生(外国人留學生を除く)であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。 ②(1)奨学金の生活が困難していると思われる人 (2)将来、要領、要領等困難に携わる見込みがあると認められる者 ③(1)が該当し、学業が優れ、かつ、心身共に健康であると認められる者 (4)助成が必要と認められる者		免除・減免	267,000円	入学時	予算の範囲内で決定	地域の制限なし	国際・情報部 国際交流チーム	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否		
京都大学	京都大学入学科免除、授業料免除	その他	入学科免除一人学手續き時 授業料免除一人学手續き時	入学金・授業料免除	入学科免除出願資格 1. 入学前1年以内において、出願者の学費負担者が死亡し、または出願者もしくは学費負担者が風水害等の災害を受け、入学科の納付が著しく困難であると認められる場合 2. 1.に準ずる場合で校長が相当と認める事由がある場合 授業料免除出願資格 1. 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合 2. 授業料の納付期間が9月以内(入学した日の属する期分の授業料免除の場合は、入学前1年以内)において、学費負担者が死亡し、または出願者もしくは学費負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合 3. 2.に準ずる場合で校長が相当と認める事由がある場合	対象学年 入学年次(入学科免除) 全学年(授業料免除) 学部 全学部 入学科免除出願資格 1. 入学前1年以内において、出願者の学費負担者が死亡し、または出願者もしくは学費負担者が風水害等の災害を受け、入学科の納付が著しく困難であると認められる場合 2. 1.に準ずる場合で校長が相当と認める事由がある場合 授業料免除出願資格 1. 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合 2. 授業料の納付期間が9月以内(入学した日の属する期分の授業料免除の場合は、入学前1年以内)において、学費負担者が死亡し、または出願者もしくは学費負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合 3. 2.に準ずる場合で校長が相当と認める事由がある場合	免除・減免	入学科免除 入学科料282,000円(全額又は半額を免除) 授業料免除※: 授業料半額分297,000円(全額又は半額を免除) ※授業料免除については、前期・後期に分けて免除の可否、免除額を決定する。			地域の制限なし	教育推進・学生支援部学生課奨学課	併用可	併用可		
	京都大学久能賞	入学後		学費支援	出願資格 (1)21世紀における地球規模の問題を解決し、および世界を目的とし、社会に貢献したいという強い志を持つ者。専修/後進分野において自ら定めた独創的な学修を行う意欲のある本学女子学生。 (2)21世紀又は修士課程に在籍する者。ただし、翌年度も在籍する前に2期(翌年度に在籍する課程は除く)。 (3)賞賞年度における学費及び受賞の翌年度における報告書に出席できる者。 (4)募集年度において、選定を受けている学生は、本賞に申請することはできない。		1200,000円(年額)	1年間	前2人	地域の制限なし	教育推進・学生支援部学生課奨学課	併用可	併用可			
	短期派遣プログラムの進捗支援	その他	京都大学が夏休み・春休みを実施する短期派遣プログラム(年間約10)の募集時期(例年4～5月、10～11月)	留学費用支援制度	対象学年 全学部・学部 資格 京都大学の正規学生 条件 短期留学プログラムに参加が認められた者(条件はプログラム毎)	対象学年 全学部・学部 資格 京都大学の正規学生 条件 短期留学プログラムに参加が認められた者(条件はプログラム毎)		アジア・ASEAN地域対象プログラム5万円 欧州・ニュージーランド8万円 北米:10万円	プログラムの参加費支払いの際に大学が給付分を負担	各プログラムの定員(10～20名程度)	地域の制限なし	国際・共通教育推進国際国際教育交流課海外留学課	併用可	併用可		
	CFプロジェクト(Create the Future Project)奨学金	入学後		学費支援	対象学年 4年制の学部学生(学部3年次) 6年制の学部学生(学部4年次) 出願資格 (1)本学の正規の教育課程に在籍の者。 (2)学業優秀である者。 (3)日本学生支援機構第一種奨学金の累計基準を満たす者。または、日本学生支援機構第一種奨学金の累計基準を満たす者に準じると本学が認めた者。			月額2万円(年額60万円)		4年制の学部学生(支援期間:2年間) 6年制の学部学生(支援期間:3年間)	学部募集枠:100名程度	地域の制限なし	教育推進・学生支援部学生課奨学課	併用可	併用可	
京都工芸繊維大学	京都工芸繊維大学特待生制度	その他	申請不要(大学にて対象者を選定)	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	成績が優秀な学部2年次から学部4年次生		給付奨学金 免除・減免	当該年度の前期分の授業料の全額	1回限り	2次年次から第4年次までの各年次につき、各課程若干名	地域の制限なし	学生支援・社会連携課経済支援係	併用可	併用可		
	授業料徴収特許	その他	前学期3月、後学期9月	その他	入学科・授業料徴収特許	次のいずれかに該当する人であること 1. 経済的理由により納付期限までに授業料の納付が困難であると認められる人 2. 学生又は学費負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに納付が困難であると認められる人	その他	前学期は3月31日まで、後学期は翌年1月31日まで徴収を猶予		条件を満たす人全員	地域の制限なし	学生支援・社会連携課経済支援係	併用不可	併用可		
	入学科徴収特許	その他	入学手續及び入学前	その他	入学科・授業料徴収特許	次のいずれかに該当する人であること 1. 経済的理由により納付期限までに納付が困難であると認められる人 2. 入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに納付が困難であると認められる人	その他	専入学生は入学年度の7月31日まで、専入学生は入学年度の1月31日まで徴収を猶予		条件を満たす人全員	地域の制限なし	学生支援・社会連携課経済支援係	併用不可	併用可		
	KIグローバル人材育成プログラム	在学中	3年次以上	留学費用支援制度	対象学年 3回生以上、前年度の成績評価係数2.30以上、前年度の学修成績の成績評価係数2.30以上またはTOEICスコア550以上 グローバルリーダーシップ(研究実習):4回生以上、前年度の成績評価係数2.30以上、前年度の学修成績の成績評価係数2.30以上またはTOEICスコア550以上		月額60,000円～130,000円	8日以上1年以上以内(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の間に連続すること	特になし		地域の制限なし	国際課留学係	条件有りて併用可	条件有りて併用可		
大阪教育大学	短期派遣留学に係る授業料免除	在学中	学年指定なし(留学期間を標準とする)	入学金・授業料減免	対象 文芸科学部全学年 資格 短期留学研修(英国、豪州)の派遣先それぞれに参加を志す者		給付奨学金	一名あたり、最大20万円の留学費用(派遣先、参加人数により変動)	留学時の一回のみ(渡航費の一回は自己負担)	①英語:10名(予定) ②豪州:10名(予定)	地域の制限なし	学務課学務企画係	併用可	併用可		
	大阪教育大学教育振興奨学金	その他	申請を要しない。(授業料免除申請者のうちから本学で選考)	用途を定めない経済的支援	短期派遣留学学生(交換留学)として本学から海外交流協定締結大学に派遣される者		免除・減免	後期授業料の全額	後期授業料分1回限り	10名以内	地域の制限なし	学生支援課奨学係	併用可	併用可		
	大阪教育大学学費支援奨学金	在学中	1年次・9月申請	用途を定めない経済的支援	1年次生であって、学業成績及び人物が優秀な者であって、経済的支援を必要とする者		給付奨学金	50,000円	1回限り	10名程度	地域の制限なし	学生支援課奨学係	併用可	併用可		
	大阪教育大学緊急奨学金	随時		用途を定めない経済的支援	申請資格(次の①～③を満たすこと) (1)新型コロナウイルス感染症、近年の物価高騰などの要因により、自身または家庭の収入等が減少し、または支出が増えたことにより、学費が困難となり、経済的支援が必要な本学教育学部、大学院、特別支援教育特別専攻科に在籍する学生 (2)世帯収入が日本学生支援機構第二種奨学金の累計基準以下であること (3)貧乏にあたって、連帯保証人を選任することができること		貸与奨学金	10万円		60人程度	地域の制限なし	学生支援課奨学係	併用可	併用可		
兵庫教育大学	授業料免除	その他	前期2月中旬、後期7月下旬	入学金・授業料減免	【対象者】 【日本学生支援機構給付型奨学金の申込資格を満たさない者】 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者 【対象者】 1.入学前1年以内において、本学に入学する者の学費負担者が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受け、入学科の納付が著しく困難であると認められる者 2.入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受け、入学科の納付が著しく困難であると認められる者 【応募要項】 兵庫教育大学の大学院学生(修士課程・専門職学位課程)及び学部学生が実施責任者となり、大学院生・学部学生がグループで組み、学生自身が主体的に企画・運営するもので、原則として応募年度の3月31日までを終了すること。 【選考方法】 学生委員会において、提出された計画書を基にヒアリングを行ううえで審議し決定		免除・減免	全額免除:267,900円(授業料支助) 3/4免除:200,820円(授業料267,900円の4分の3に相当する金額) 半額免除:133,950円(授業料267,900円の2分の1に相当する金額)	①1年間 ②1回限り	予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可		
	入学科免除	入学手續時		入学金・授業料減免	【対象者】 1.入学前1年以内において、本学に入学する者の学費負担者が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受け、入学科の納付が著しく困難であると認められる者 2.入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受け、入学科の納付が著しく困難であると認められる者 【応募要項】 兵庫教育大学の大学院学生(修士課程・専門職学位課程)及び学部学生が実施責任者となり、大学院生・学部学生がグループで組み、学生自身が主体的に企画・運営するもので、原則として応募年度の3月31日までを終了すること。 【選考方法】 学生委員会において、提出された計画書を基にヒアリングを行ううえで審議し決定		免除・減免	全額免除:267,900円(授業料支助) 3/4免除:200,820円(授業料267,900円の4分の3に相当する金額) 半額免除:133,950円(授業料267,900円の2分の1に相当する金額)	①1回限り	予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可		
	課外プロジェクト	在学中	1年次～4年次生	課外活動支援制度	課外活動支援制度		その他	プロジェクト1枠あたり20万円を上限。			①1年間 ②1回限り	予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	新型コロナウイルス感染症による療養費に係る授業料免除	在学中	1年次～4年次生	入学金・授業料減免	申請資格 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による収入減少があった者のうち、当該事由に基づく公的支援を受給している者、又は事由発生後の世帯収入が急変前と比較し、1/2以下となっている者 条件 本学において提出書類に基づき「家計詳細欄」を算定し、本学の定める基準を満たした者 申請資格 入学手續3月以内(新型コロナウイルス感染症の感染拡大による収入減少があった者のうち、当該事由に基づく公的支援を受給している者、又は事由発生後の世帯収入が急変前と比較し、1/2以下となっている者) 条件 本学において提出書類に基づき「家計詳細欄」を算定し、本学の定める基準を満たした者		免除・減免	半期分授業料の3分の1の額を限度として免除	①1年間 ②1回限り	予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可		
奈良教育大学	後援学習奨励費	入学後		学費支援	学部及び大学院に在籍する学生で、学業・人物ともに優秀と認められ、将来、有望な人材になる人を対象		給付奨学金	月額1万円	1年間	年間10名	地域の制限なし	後援会事務局	併用可	併用可		
	奈良女子大学	在学中	2年～4年	用途を定めない経済的支援	母親のいない者又は母子・父子家庭など学費負担者に特別な事情があり、経済的に困難している2回生以上の学部学生で、学業・人物ともに優秀な者を対象		給付奨学金	月額15,000円		各学年3名まで、	地域の制限なし	学生生活課学生支援係	併用可	併用可		
鳥取大学	広部奨学金	在学中	学部3年生以上	特待生・成績優秀者	学部3回生以上に在籍する者で、人物・学業ともに優秀な者として所属学部長の推薦を受けた者。		給付奨学金	1回限り、1万円を支給。		各学部2名、計6名	地域の制限なし	学生生活課学生支援係	併用可	併用可		
	青見奨学金	在学中	1年次～4年生	用途を定めない経済的支援	育成中の正規学生で、本学の子育て支援webシステム「ならこネット」に登録を許可され、対象期間内(1)小学生以下の子どものいる世帯の世帯主であった者(休学・休学期間中、休学中の利用を除く)、4月～9月、10月～3月を対象期間として、年2回申請を受付。		給付奨学金	申請受付日ごと20,000円を上限として、利用金額の実質を援手。		制限なし	地域の制限なし	学生生活課学生支援係	併用可	併用可		
	鳥取大学修学支援事業奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	①大学等に在籍する修学に関する支援(申請年度(令和3年度)に在籍していた学生)について、適格認定における学業成績の基準を基に、GPAの高い者、又は日本学生支援機構の第一種奨学金について、適格認定における学業成績の基準を基に、GPAの高い者、1年次学生については、実学費に相当する金額(平均額による。)		給付奨学金	1人当たり9万円	年1回	①50人程度 ②280人程度	地域の制限なし	学生部学生生活課	併用可	併用可		
	鳥取大学後学学生育成奨学金	入学後		特待生・成績優秀者	学業成績、スポーツ、芸術又は社会貢献活動のいずれかの分野において秀でており、かつ、人格に優れ、他の学生の模範になると認められる者、学部長等からの推薦による、各学部1名。		給付奨学金	1人当たり10万円	年1回	4人	地域の制限なし	学生部教育支援課	併用可	併用可		
鳥根大学	鳥取大学前橋奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 留学費用支援制度	対象学生は、地域学生 ①授業料及び入学科に要する経費の支援、鳥取大学における学費支援法に基づく授業料等減免に関する規程により申請を行ったが、不許可になった者のうち次に掲げる者に奨学金を交付する。 イ 入学科免除申請者で不許可になった者 ロ 授業料免除申請者で不許可になった者 ハ その他学費負担者の必要な奨励、奨励金などにより授業料等減免に関する規程に定められた学業成績の要件を満たした者 ②地域内における学業研究や学業等への出席、並びに実習等に関する経費の支援。 ③地域貢献活動の活性化や学業等に関する研究等に関する奨励金。鳥取大学学術奨励金から推薦された者。		給付奨学金	(3)の①イは入学科の1/4、①ロは授業料半額分の1/4、①ハは授業料半額分の半額又は金額に相当する額。 ②は、1回限りとし、国内5万円、国外3万円を上限(1人当たり20万円を限度)。 ③は、1回限りとし、5万円。ただし、日本学生支援機構の留学生交流支援制度からの支援がある者は除く。 ④は、2万円。	随時	人数制限なし(ただし制課の範囲内)	地域の制限なし	地域学部会計係、教務係	併用可	併用可		
	鳥取大学正光奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	日本、正統科の業績が顕著に認められ、本学学生の評価を向上させたこと認められる者、経済的困難者であって他の奨学金の活用を受けることが困難な者、又は地域の活性化に寄与すると認められる者として、学業が特に必要認め、推薦した者		給付奨学金	80万円を限度	1回限り	若干名	地域の制限なし	学生部学生生活課	併用可	併用可		
	夢チャレンジ奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	・本学の学部1年生 ・日本学生支援機構の第一種奨学金受給対象者と同等程度の累計基準である者 ・本学の授業料免除の累計基準を満たす者であって、自宅を過学している者(ただし、日本学生支援機構の給付奨学金の交付を受けている者及び入寮者を除く)		給付奨学金	20万円		1年次(9月と10月に2万円ずつ支給)	15人	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	中長期インターンシップ支援金	その他	例年7月中旬のインターンシップ開始前に募集	課外活動支援制度	企業等やPPPと協賛を遂行した地域課題解決活動で、受け入れ先からの報酬を伴わない実務経験の合計が当該年度において10日以上のもの		給付奨学金	5万円		修業年限に1回支給	10名の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
岡山大学	短期海外研修プログラム奨学金	在学中	1年生～4年生	留学費用支援制度	各学部等が実施する海外留学・研修プログラムに参加する者		給付奨学金	給付額と単位取得可能な場合は5万円、それ以外の場合は3万円とする。		人数制限なし	地域の制限なし	企画部国際課	併用可	併用不可		
	グローバルチャレンジ奨学金	在学中	1年生～4年生	留学費用支援制度	(1)交際費等およびほか以上の期間を要する者 (2)自ら企画する海外留学・研修プログラムまたは外部団体・機関が企画・実施する海外でのボランティア活動やインターンシップ等を主な目的とするプログラムに参加する者		給付奨学金	(1)派遣地域がアジア地域の場合には15万円、アジア地域以外の場合には25万円を支給します。 (2)派遣地域がアジア地域の場合には3万円、アジア地域以外の場合には5万円を支給します。 アジア地域とは、外務省が定めている区分に準拠します。 (3)派遣期間	1回限り	年間10名程度	地域の制限なし	企画部国際課	条件有りて併用可	併用不可		
	海外派遣学生支援事業	在学中		留学費用支援制度	本学の正規課程に在籍し、次のすべての条件を満たす者 (1)下記①～④のうち、いずれかの派遣国に基づき海外の大学等に派遣され、当該年度中に留学期間を終了した者 ① 岡山大学短期留学プログラム(EPOR)による派遣 ② 岡山大学グローバル人材育成課の運営する短期海外研修プログラムおよび短期海外研修等による派遣 ③ 大学院、短期国際交流協定等に基づく派遣(交換留学) ④ 学部・研究科で実施されている派遣 ⑤ 岡山大学で学業の進捗を要する派遣(派遣留学プログラム) ⑥ 岡山大学グローバル人材育成課が認める派遣留学プログラム (2)学業が2次以上の場合、各学期における前年度までの成績評価係数を合格と認めた者 (3)海外派遣学生を対象とした他の給付型奨学金を受給しない者		給付奨学金	派遣地域がアジア地域の場合には3万円、アジア地域以外の場合には5万円を支給します。 アジア地域とは、外務省が定めている区分に準拠します。	一時金として支給します。	300名程度(学費状況に応じて変更の場合あり)	地域の制限なし	国際課留学交流課	併用可	条件有りて併用可		

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
秋田公立美術大学	学部在学生特待生制度	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	本学部在学中の成績等により決定された者(2～4年生での当該年度進級者に限る)。ただし、学部入学生特待生を除く	給付奨学金	年間授業料相当額の半額	決定された年度の末日まで	学年ごと20名以内	地域制なし	秋田キャンパス 教務チーム	併用可	併用可		
	学生寮	随時		奨励制	実家が秋田キャンパス(又はその0キロ以上離れた)に、または片道1時間30分以上かかること、経済的理由により入居を希望する学生で、授業料減免適用基準を高くするために要する入居である。	給付奨学金 その他	寮費:月額50,000円 その他	学部、大学院在籍期間中	男女各120名まで	地域制なし	秋田キャンパス 学生チーム	併用可	併用可		
	秋田県立大学の周年記念奨学金	在学中	学部1年生～4年生、大学院1年生～3年生	用途を定めない経済的支援	次のすべてを満たす者 (1)秋田県内高校を卒業し、交付時に在学している正課生 (2)学業を継続することにより経済的困難が認められる者 (3)別に定める成績基準を満たした者 (4)過去に秋田県立大学10周年記念奨学金又は本奨学金の交付を受けていない者	給付奨学金	20万円	在学期間に1回	1年度あたり最大10名交付	秋田県	秋田キャンパス 学生チーム	併用可	併用可		
秋田公立美術大学	秋田公立美術大学奨学金制度	その他	申請不要、本学在学中の成績等により学員が選考する。	特待生・成績優秀者	2年生から4年生までの当該年度の進級者のうち、前年度進級学業成績の優秀者から決定	給付奨学金	予算の範囲内で決定(令和3年度は一人あたり10万円)	決定時に一括支給	学年ごと2年生および3年生は3名以内、4年生は2名以内	地域制なし	事務局学生課	併用可	併用可		
国際教養大学	緊急支援奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	学業生、特別科目等履修生及び大学院生で、学費支弁者(父、母、学費支弁者)あるいは学生本人の収入等不足により、本学に在学が困難な状態に陥り、かつ、実情が緊急の場合は日本学生支援機構の「災害支援基金」の支給対象とならなかった学生	給付奨学金	5万円/年(在学中により金額が異なる場合あり)	一回限り	一回限り	定めなし	地域制なし	学生課 学生支援チーム	併用不可	併用可	
	AIU留学期成績優秀者特奨奨学金	その他	各学期末(年度末を除く)、留学期に交換留学へ出発する学部生から、成績優秀者を選抜する。	特待生・成績優秀者	留学期より大学が義務付ける1年間の交換留学に出発する学部生(留学期間)の中から、留学期のGPA上位者を大学が選抜する。	給付奨学金	100,000円	一回限り	1学期10名を上限とする。	地域制なし	学生課 学生支援チーム	併用可	併用可		
	AIU秋田県出身学生奨学金「わか杉奨学金」	入学後		学費支援	2012年4月以降に入学した秋田県出身学生(学部生、院生、特別科目等履修生)のうち、本制度に申請し、大学が定めた期日までに授業料を納付した学生	給付奨学金	1)80,100円/学期 2)40,050円/学期(本学独自授業料減免制度適用の場合)	学期前に申請、採用。	人数制なし	秋田県	学生課 学生支援チーム	併用可	併用可		
	AIU秋田県外出身学生奨学金「修学支援奨学金」	入学後		学費支援	2012年4月以降に入学した秋田県内出身の学部生で、国の高等教育修学支援新制度の適用を受けている学部正課生、かつ、本制度に申請し、大学が定めた期日までに授業料を納付した者。	給付奨学金	国の高等教育修学支援新制度の支援区分1～11により、学期毎に1)80,100円 2)53,400円 3)26,700円/学期のいずれか。	学期前に申請、採用。	人数制なし	地域制なし	学生課 学生支援チーム	併用可	併用可		
	AIUアンバサダー奨励金	入学後		学費支援	国内外あるいはオンラインで開催される国際会議または研究会等に参加する学部学生、特別科目等履修生、大学院生で、その参加が本人、あるいは本学に有益と認められる場合、旅費、登録料等を補助。本人の申請を受けて選抜。	給付奨学金	国内最大2万円、海外最大5万円、オンラインによる参加最大1万円	支給は一人一回まで。	一回限り、採用年度数の応募は可	若干名	地域制なし	学生課 学生支援チーム	併用不可	併用不可	
山形県立米沢栄養大学	AIUふきのとう特別奨学金	入学後		学費支援	毎年1月の申請時点で、授業料減免、各種給付奨学金が不適用の正規学生(院・学部)および特別科目等履修生が対象。本人の申請を受けて、家計状況や成績等を大学が総合的に判断し、選抜。	給付奨学金	15万円/回	一回限り	採用年度数の応募は可	若干名	地域制なし	学生課 学生支援チーム	併用不可	併用不可	
	教育振興奨学金	随時		学費支援	家計支持者の未婚、未婚、風水被害等により家計が急変し、日本学生支援機構奨学金の貸付・給付型奨学金を利用して不足する場合、申請により本学教育委員会より奨学金を貸与する制度になります。	貸付奨学金	一年度あたり30万円以内、上限120万円				地域制なし	総務企画課	併用可	併用可	
	授業料免除	入学後		入学金・授業料免除	経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められるとき、その他やむを得ない事情(災害による損失等)があるときは、申請により返済の上、その額の授業料の半額又は全額を免除する制度です。 要件は①原則として日本学生支援機構等の奨学金を受給している学生又は奨励金のみある学生で、経済的理由により納付が困難であると認められ、かつ、学業成績と認められる場合②災害等の事故の発生(前年度10月1日～前年度10月31日)による経済的困難が認められる学生で、入学前1年以内において、学業の滞りや退学等の事由が生じ、又は学生若しくは学費負担者が風水被害等の災害を受ける等の特別の事由により、授業料の納付が困難であると認められる場合です。 成績優秀者の成績要件は、1年生の前回は出身高校の評定平均が4.0以上の者、1年生の後期から4年生までは授業料免除対象の直前期までの主要科目目の履修単位数が基準(1年後期15単位、2年前期38単位、2年後期60単位、3年前期77単位、3年後期93単位、4年前期105単位、4年後期110単位)を満たし、かつ、GPAの値が7以上の者	免除・減免					地域制なし	教務学生課	併用可	併用可	
山形県立保健医療大学	大学独自の奨励金	随時		入学金・授業料免除	国の修学支援制度で対象外となった者、全額免除とならなかった者について、大学独自の基準で減免を行う。 (対象者) ・経済的理由により授業料の納付が困難であると認められ、かつ、学業成績と認められる者 ・授業料の滞りや滞り等の事由が生じ、かつ、学業成績と認められる者 ・国の修学支援制度で対象外となった者 ・国の修学支援制度の対象とならない場合 金額又は半額	免除・減免	(減免額) ・国の修学支援制度による授業料の免除額が2分の2である場合 3分の1 ・国の修学支援制度による授業料の免除額が2分の1である場合 3分の2又は6分の1			授業料の滞りや滞り等に申請しなれない場合、申請したる期間等の審査を行い、適宜とする。	人数制なし	地域制なし	教務学生課	併用可	併用可
福島県立医科大学	授業料等免除制度	在学中	1学年～6学年まで	入学金・授業料免除	対象学年 全学年 学部 全学部 内容 学業成績が優秀で、かつ経済的理由により授業料の納入が困難であると認められる場合に、授業料の減免を行う。	免除・減免	納入額内において納入すべき授業料の金額の全部又は2分の2に相当する額				地域制なし	教育研修支援課	併用不可	併用可	
茨城県立医療大学	茨城県立医療大学授業料等減免(授業料)	その他	入学科 入学手続き時 授業料、前期4月、後期10月	入学金・授業料免除	対象 学部学生のうち、1年度在学中の2年生(2年度以降に入学する学部生は対象外) 条件 学業が優秀であると認められ、次のいずれかに該当する者 (1)学部学生 専攻科学生又は大学院生を卒業しようとしている者(以下「学費負担者」という。)が生活保護法による生活扶助を受けるに至ったこと。 (2)学費負担者が失業又は失業の不安に陥ったこと。 (3)学費負担者が死亡し、又は学業滞りや退学等の事由が生じ、かつ、学業成績と認められる者。 (4)学費負担者が災害、火災その他の災害により損害を受けたこと。 (5)知事が前号に照らして承認することに基づき認められたもの。	免除・減免	入学科・授業料の金額又は半額を免除する。 (初年度入費 県内在住者 282,000円 県外在住者 564,000円) (6)授業料 533,800円)				地域制なし	教務課学生係	併用可	併用可	
前橋工科大学	前橋市出身者入学科半額	学校出願時		入学金・授業料免除	入学する者またはその配偶者若しくは1親等の親族が入学の年の4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している場合入学科が半額	免除・減免	入学科が半額(141,000円)				群馬県	総務課財務係	併用可	併用可	
	前橋市出身者特待制度	学校出願時		入学金・授業料免除	次の2つの条件を満たした場合、年度の授業料が半額 ①前橋市内に1年以上住所を有している (入学の4月1日において、「前橋市に住所を有している」) ②大学入学後通年で、次の科目の各得点が全て全国平均値以上 [「数学I」「数学II」「物理学I」「物理学II」「化学I」「化学II」「生物I」から1科目(高得点のものを選択)] 次のいずれかに該当し、かつ、学業成績及び人物と認められる人に対して授業料の減免を行います。ただし、合理的な理由のない日本学生支援機構などの奨学金を受給している人及び特別の理由がない1年生の修業成績を優れていない人は、対象外です。	免除・減免	全額免除の場合・・・287,900円 半額免除の場合・・・133,950円				群馬県	総務課財務係	併用可	併用可	
	通常減免	その他	前期申請締切・4月下旬 後期申請締切・10月下旬	学費支援 入学金・授業料免除	※(1)本学の大学院生であって、学費負担者が生活保護法に規定する事項等又はそれに準ずる程度に困難していると認められる人(生活保護受給者は全額免除、その他の人は半額免除) ※(2)前年度前回の学費滞りにおいて、学費負担者が失業その他の災害に陥り、かつ、学業成績と認められる人(生活保護受給者は全額免除、その他の人は半額免除) ※(3)前年度前回の学費滞りにおいて、学費負担者が失業その他の災害に陥り、かつ、学業成績と認められる人(生活保護受給者は全額免除、その他の人は半額免除) ※(4)私費外国人留学生在で、授業料の納付が困難であると認められる人(減免額の基準については、①)を準ずる。) ※(5)その他特別の理由がある認められる人 ※(1)から(4)までについては、1年生前期に係る授業料の減免は、行いません。 ※(2)及び(3)については、本学期における経済的支援に関する法律による授業料減免対象者は、申請できません。 大学で学んだ1か月以上の履修者(かつ1単位)	免除・減免					前期・後期ごとに申請可能。	人数制なし	地域制なし	総務課財務係	併用不可
群馬県立女子大学	留学期間中の授業料減免	在学中	1年生～4年生	入学金・授業料免除	対象者 全学部(留学生含む)対象、本学の修学支援プログラムにのっとり特別研修・留学・海外1回、海外2回以上、海外3回以上の海外研修・海外2回以上の海外研修、海外研修後交換留学必須。	免除・減免	535,800円(年間)又は2207,900円(半期分)	半年又は1年	人数制なし		地域制なし	学生係	併用可	併用可	
高崎経済大学	海外留学支援プログラム	在学中	1～4年、ただし、4年生後期は申請不可。	留学費用支援制度	体育会に所属するスポーツ一団体の1年生	給付奨学金	議決後留学期間中の半額(長期留学期間40万円上限、短期留学期20万円上限)。	一回限り	人数制なし		地域制なし	外国語教育研究所	併用可	併用可	
	永井ホールディングススポーツ活動奨励奨学金	在学中	1年生	課外活動支援制度 その他	本学に学部学生として在学し体育会学生であって、人物学業ともに優れかつ健康であって大学卒業までにスポーツ活動を継続する強い意志がある者	貸付奨学金	貸付月額 5万円、6万円、7万円、8万円	毎年度年間度 4ヶ月分を一括して貸付 支払月は2月、8月、12月	10人程度		地域制なし	教育グループ 学生支援チーム	併用可	併用可	
埼玉県立大学	授業料減免制度	随時		入学金・授業料免除	履修 社会人入学者等の、高等教育の修学支援新制度の対象外となる者について、学期毎理由により家計が急変した場合で、一定の要件を満たす場合には、半期分(6か月分)の授業料について減免を行う。 対象 高等教育の修学支援新制度の対象外となる者 条件 本人への入学時特待に関する資料不備、過去の高等学校の修学支援新制度と同一。	免除・減免	[授業料(年間)] 第1区分 421,000円 第2区分 414,000円 第3区分 207,000円	1か月おき1回申請書を行い更新	不問		地域制なし	学生・教職支援担当	併用不可	併用可	
神奈川県立保健福祉大学	特待生制度	入学手続き時		特待生・成績優秀者	学部、大学院の新入生対象。 入学者選抜における成績が特に優秀な者を特待生として選考。 特待生については、入学科を全額免除。	免除・減免	学部・大学院の新人を対象、入学金282,000円	一回限り	学部 11名 大学院 4名		地域制なし	学部入試担当部	併用可	併用可	
川崎市立看護大学	入学時成績優秀者奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者	入学試験(学校推薦型選抜の合格者は別途、大学共通入学試験)において極めて優秀な成績を上げ、かつ将来への目的やビジョンを明確に持つ学生を選抜し、入学前における成績等に関する資料不備、過去の高等学校の修学支援新制度と同一。	給付奨学金	入学金と2年間の授業料相当額(最大1,353,800円)	2年間(第1・2学年)	年間5名程度		地域制なし	事務総務総務学生課	併用可	併用可	
	地域定着促進奨学金	入学後		特待生・成績優秀者	第2学年以降の成績が優秀かつ、埼玉県市内の医療施設等で看護師または保健師として就職しようという意思のある者(市内医療機関等に就職し、業務に3年間従事した場合、貸付金額の返還を免除する)。	貸付奨学金	月額5万円	2年間(第3・4学年)	年間10名程度		地域制なし	事務総務総務学生課	併用可	併用可	
	地域定着促進奨学金	入学後		学費支援	埼玉県市内の医療施設等で看護師または保健師として就職しようという意思のある者(市内医療機関等に就職した場合、利息を免除)	貸付奨学金	月額1万円から5万円(選択制)	第1学年から第4学年まで	年間10名程度		地域制なし	事務総務総務学生課	併用可	併用可	
新潟県立看護大学	新潟県立看護大学授業料の減免及び納付期限延長申請手続きに関する事務取扱要綱	入学後		入学金・授業料免除	学部生、大学院生が全額 実及その他特別の事情により市町村民税の減免を受けた1世帯の世帯に属する者 ①減免措置が課税額の1/2以上である場合 ②減免措置が課税額の1/2未満である場合	免除・減免	①授業料の全額 ②授業料の半額	①当該学期 ②当該学期	①人数制なし ②人数制なし		地域制なし	教務学生課	併用不可	併用不可	
新潟県立大学	大学独自の授業料減免	在学中	1年生～4年生	入学金・授業料免除	学業成績が優秀な者、市町村民税の減免を受けた者の世帯に属する者 上記に該当する場合は、特に授業料を免除する必要は認められる者	免除・減免	当該学期の授業料の全額又は半額	減免対象となった学期	条件を満たす者		地域制なし	教務学生課	併用可	併用可	
	学務奨励金	在学中	2年生以上	用途を定めない経済的支援	(1)奨励金の申請時において、公立大学法人新潟県立大学の修学支援新制度における授業料等減免に関する規程第2条の規定及びその他の制度により、授業料の滞りや滞り等の事由が生じ、かつ、学業成績と認められる者 (2)学業を継続することにより経済的困難が認められる者 (3)別に定める成績基準を満たす者	給付奨学金	10万円	同一学生について在学期間を通じて1回	年間24名程度		地域制なし	教務学生課	条件有りでの併用可	併用可	
	緊急修学支援金	在学中	1年生～4年生	用途を定めない経済的支援	1 学費負担者の収入又は学生本人のアルバイト等による収入が激減した等の理由で、経済的に著しく困難し、その修学及び生活の継続が困難な状況である者 本学において支援の必要性を認められた者	給付奨学金	5万円	同一学生について在学期間を通じて1回	年間1～4名程度		地域制なし	教務学生課	併用可	併用可	
	海外派遣留学期奨学金	その他	前期・1月頃 後期11月頃	留学費用支援制度	対象 本学の正規課程に在学している学生で、本学と教育・学術交流に関する協定又は覚書を交わした海外の大学等に1学期間または1年間留学者 資格: ①学期に規定する単位を受けたことがないこと ②成績簿において前年度に全科目合格していること(休学により納めるとをしない期間を除く) ③独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の海外留学期間奨学金(協定派遣)奨学金、またはそれと同等以上の条件の他の国の奨学金を受給していないこと ④過去において、派遣留学期間奨学金を受給していないこと	給付奨学金	10万円	一回限り	原則として1名定数あたり1名			地域制なし	国際交流課	併用可	条件有りでの併用可
長岡造形大学	長岡造形大学優秀学生賞	その他	申請制ではない	特待生・成績優秀者	3年以上、各学年1名 入団にすべし、学業成績が特に優秀な者	給付奨学金	表彰状、賞金5万円	一回限り	年間12名		地域制なし	学生支援課	併用可	併用可	
	授業料等減免	在学中	1年生～4年生	入学金・授業料免除	全学年全学科、経済的理由により修学が困難で、人物および学業成績がともに優秀な学生。ただし、高等教育の修学支援新制度における給付型奨学金に採用された者を除く。	免除・減免	(授業料・実習費)の後期分を減免 292,900円	当該年度	人数制なし		地域制なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	国際交流事業支援奨学金	随時		留学費用支援制度	留学生対象 1年次は、一般選抜前期日程合格者のうち、成績優秀者を奨学生として内定。 2から4年次は本学の業績に基づき選考	給付奨学金	議決に要する往復航空運賃の2分の1(ただし上限10万円)	同一年度1回限り	人数制なし		地域制なし	教務課	併用可	併用可	
三条市立大学	高度聴覚奨学金	入学後		学費支援	1年次は、一般選抜前期日程合格者のうち、成績優秀者を奨学生として内定。 2から4年次は本学の業績に基づき選考	給付奨学金	年間40万円を2回に分けて給付	1年間	1から4年次 各10人		地域制なし	Student Support Unit	併用可	併用可	
	高度スクラップ奨学金	入学後		学費支援	1年次は、一般選抜前期日程合格者のうち、成績優秀者を奨学生として内定。 2から4年次は本学の業績に基づき選考	給付奨学金	年間40万円を2回に分けて給付	1年間	1から4年次 各4人		地域制なし	Student Support Unit	併用可	併用可	
	三島市聴覚補聴士奨学金	入学後		学費支援	1年次は、一般選抜前期日程合格者のうち、成績優秀者を奨学生として内定。 2から4年次は本学の業績に基づき選考	給付奨学金	年間40万円を2回に分けて給付	1年間	1から4年次 各4人		地域制なし	Student Support Unit	併用可	併用可	
金沢美術工芸大学	スノーピークフェロシシップ	入学後		学費支援	3年次から本学の業績に基づき選考	給付奨学金	年間40万円を2回に分けて給付	1年間	1から4年次 各4人		地域制なし	Student Support Unit	併用可	併用可	
	入学全減免制度	入学手続き時		入学金・授業料免除	経済的理由により入学金が納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる学生。	免除・減免	全額減免:282,000円 / 2/3減免:188,000円 / 1/3減免:94,000円				地域制なし	教務学生課	併用可	併用可	
	授業料減免制度	随時		入学金・授業料免除	経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる学生。	免除・減免	全額減免:267,900円 / 2/3減免:178,600円 / 1/3減免:89,300円				地域制なし	教務学生課	併用可	併用可	
	緊急支援奨学金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援	学費負担者の死亡、会社等の倒産又は解雇等により、やむを得ず失職したと(定年退職や自己都合退職を除く)など、経済的な理由により学業の継続が困難となった者。	給付奨学金	学費または生活の援助、一括で5万円	該当年度から6ヶ月以内、同一の理由による奨学金の給付は在学中1回限り			地域制なし	教務学生課	併用可	併用可	
	ワールドワイド奨学金	入学後		学費支援 留学費用支援制度	本学に在学中の学生(大学院生を含む)で、アートに関連する国際機関等の企業家及び自己が企画する自己研修等による、概ね2日以上の前海外研修を計画している者。	給付奨学金	学生が海外で行う入、文化等との交流を通じた研修活動費の一部を支援。一括で5万円	1年に1回。	年間10名程度(年度によって異なる)		地域制なし	教務学生課	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
公立小松大学	公立大学法人公立小松大学学生短期貸付金	在学中	1年生～4年生	用途を定めない経済的支援	・別室 正規課程の学生 ・要件 世帯収入の減少等により経済的に困窮している者 ・返済方法 貸付日の返済期日は貸付日の年度の3月5日までとする。 返済は原則として一括払いと利息なし。休・返学等学費の異動等があった場合は、遅やかに返済金の全額を返済すること。		貸与奨学金	一年度ごとに1回限り7万円を限度に1万円単位で貸付する。	1年	制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	海外派遣活動支援奨学金	在学中	1年生～4年生	研修支援制度 留学費用支援制度			給付奨学金	最大5万円	研修・実習の終了後に支給する。	支給人数の指定なし。	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	留学支援奨学金	在学中	1年生～4年生	留学費用支援制度		半年以上の交換留学に参加する学生を対象とする。		給付奨学金	5～10万円	海外留学の滞り全額を支給する。	年間最大6名	国際交流センター	併用可	併用可	
福井県立大学	特待生制度	在学中	2年、3年、4年の前期1回、後期1回	特待生・成績優秀者	学業成績が特に優れ、かつ、人物が優秀であると認められる学生について、学期ごとに、各学科および各年次1名(経済学部においては各学科2名)の学生を特待生と決定		給付奨学金	10万円	6月、11月	経済学科、経営学科は各学年で2名 その他の学科は各学年で1名 ※年度間合計6名(数学科があるため、某年度より変更あり)	地域の制限なし	就職・生活支援課	併用可	併用可	
山梨県立大学	海外留学特別奨学金	在学中	2年生～4年生	留学費用支援制度	成績優秀で海外の大学等への留学を希望する学生に対し、奨学金を支給します。 応募資格 ①本学に1年以上在籍している学生であること ②留学期間が6か月以上であること ③本学より海外の大学等において公認されている用件書に定める成績試験の成績が次に掲げるものであること ア 公認用件書の規定 成績5.5以上と評定されていること イ 公認用件書に定められた以外の成績と同等以上であるとして国際教育研究センターが認めるものであること ④本学での成績、公認用件書の規定、並列留学の期間等により国際教育研究センターが認めるものであること ⑤志望目的・将来の目標が明白で海外への大学等に留学することが本人の成長および本学における教育水準の向上に資する期待であること ⑥奨学金不徴収協定(交換留学)の適用を受けて留学する者でないこと		給付奨学金	海外大学等における検定料・入学金・授業料・滞在費・その他海外大学等に直接学生に請求する費用に2分の1を乗じた額 ※最大100万円	1回限り	最大2名	地域の制限なし	国際教育研究センター	併用可	併用可	
	山梨県立大学後援会学生留学等資金貸付金(学生留学資金貸付)	在学中	1年生～4年生 留学時	留学費用支援制度	本学学生が外国の大学又はこれに準ずる教育機関に留学する場合に希望する学生に無利子で貸し付ける ①保護者が後援会費を納入しているもの ②外国の大学又はこれに準ずる教育機関に留学するもの ③資金を貸し付けるにふさわしいと教職員及び学部長が推薦するもの		貸与奨学金	36万円、60万円、96万円	1回(連続的に全額貸付)	人数制限なし	地域の制限なし	総務課	併用可	併用可	
	海外研修奨学金	在学中	1年生～4年生	研修支援制度	夏休みや春休みを利用し、以下の授業プログラムに参加する学生に奨学金を支給します。 ・外国語地帯実習 ・国際保健実習 ・国際保健実習 ・その他の国際教育研究センターが認める海外の短期研修プログラムなど			給付奨学金	3.0万円	1回限り	①年間24名	地域の制限なし	国際教育研究センター	併用可	併用可
	山梨県立大学後援会学生留学等資金貸付金(学生外国研修資金貸付)	在学中		研修支援制度	本学学生が外国の大学又はこれに準ずる教育機関に留学する場合に希望する学生に無利子で貸し付ける ①保護者が後援会費を納入しているもの ②本学が外国の大学等で実施する事業又は研修に参加するもの ③資金を貸し付けるにふさわしいと担当教員が推薦するもの			貸与奨学金	所属額の1/2以内(上限30万円)	1回(連続的に全額貸付)	人数制限なし	地域の制限なし	総務課	併用可	併用可
都留文科大学	スタートアップ奨学金	入学後		特待生・成績優秀者	学科別募集定員率分岐による各試験における入学試験の上位者から決定する。		給付奨学金	6万円	1回限り	74	地域の制限なし	学生支援課 学生担当	併用可	併用可	
	成績優秀奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	①成績優秀者 前年度の成績評価において、学内での成績評価方式(グレードポイント・アベレージ)の最も上位の者で、各学科の2学年、3学年及び4学年からそれぞれ1人とする。 ②成績優秀者 前年度の成績評価方式の値が上位位から5位までの者で、各学科の2学年、3学年及び4学年からそれぞれ4人(国際教育学科に限り2人の1人)とする。ただし、成績評価の値が同等の場合は、この限りでない。		給付奨学金	①成績優秀者 学年・学科ごとに10万円 ②成績優秀者 学年・学科ごとに2～5万円	学年につき1回切り	①学科・学年ごと1名 ②学科・学年ごと4名(国際教育学科のみの1名)	地域の制限なし	学生支援課 学生担当	併用可	併用可	
	グローバル奨学金	随時		留学費用支援制度	グローバル教育実習の履修を義務可能な学生かつ海外留学等に意欲のある学生で、大学の定める留学及び研修として決定された留学へ参加する学生。		給付奨学金	① 交換留学(10ヶ月程度) 1,500万円～1,600万円 ② 交換留学(9ヶ月程度) 1,400万円～1,500万円 ③ 国際教育学科交換留学 1,400万円 ④ 留学費 1,500万円 ⑤ 協定校留学 1,400万円 ⑥ 協定校短期研修 1,400万円以内(研修参加費用の10%、千円未満切り上げ。ただし、オンライン研修の場合は、研修参加費用の20%とする) ⑦ グローバル授業 1,400万円以内(授業参加費用の10%、千円未満切り上げ) ⑧ 大学国際研修 1,400万円以内(費用の20%以内、千円未満切り上げ) ※総額内容は2023年度のものになります。2024年度につきましては、内容を改定継続しています。		人数制限なし	地域の制限なし	教務課 国際交流センター	併用可	併用可	
	進学奨励金	随時		留学費用支援制度	国外での進学希望者、進学については国内編入である奨学金審査委員会が行う。		給付奨学金	上限50万円		毎年度の予算範囲内	地域の制限なし	教務課 国際交流センター	併用可	併用可	
授業料免除	随時		入学金・授業料免除	授業料の納付が困難な学生のうち、国が行う留学支援制度へ申し込み資格を有しない学生。		免除・減免		授業料相当もしくは授業料相当額の半額	1年間(ただし、新入生のみ後期からの半年度)	地域の制限なし	学生支援課 学生担当	併用不可	併用可		
長野大学	特待生制度	在学中		特待生・成績優秀者	①1期6年生～新6年生の学業 ②2年生 1年次終了までに36単位以上を修得 ③3年生 2年次終了までに72単位以上を修得 ④4年生 3年次終了までに108単位以上を修得 ⑤3年次入 2年次終了または3年次入時点まで62単位以上を修得(※総単位も含む) ⑥4年次入 3年次終了までに108単位以上を修得 ⑦前年度の履修科目の中で、「優」以上の成績の科目割合が90%以上である ⑧前年度の履修科目の中で「可」以下がない ⑨前年度の履修科目の中で「可」が科目数以上の割合		給付奨学金	40万円	①1年間 ②1回限り	①年間20名程度 ②人数制限あり(学年ごと各学科1名以上2名、大学院1名)	地域の制限なし	教育グループ学生支援担当	併用可	併用可	
	長野県立大学授業料等の徴収猶予	在学中	1～4年生	学費支援 その他	授業料の徴収猶予 (2)対象学部・全学部(グローバルマネジメント学部、健康実業学部) (3)条件等 ①次のいずれかに該当するとき ①経済的理由により納付期までに授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合、②天災、震災等被害者の被災又は死亡、事業不振その他の世帯の状況に及び、授業料の納付が困難であると認められる場合、③行方不明の場合、④やむを得ない事情があると認められる場合		その他			人数の制限なし	地域の制限なし	学務課学生支援係	併用可	併用可	
長野県立大学	長野県立大学私費外国人留学生の授業料等の免除	その他		入学金・授業料免除 その他	授業料の免除(2年生以上で引き続き入籍を継続する私費外国人留学生が対象)		免除・減免	・入学金:423,000円(1/6減免) ・授業料年額:535,800円(半額減免) ・学費年額:150,000円(全額を減免(ただし、2年生以上、共益費は除く))		人数制限なし	地域の制限なし	学務課学生支援係	併用可	併用可	
	公立諏訪東京理科大学	優秀学生奨学金制度	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	(1)対象学年:全学年(1年生～4年生が対象) (2)対象学部:全学部(グローバルマネジメント学部、健康実業学部) (3)条件等 ①次のいずれかに該当するとき ①経済的理由により納付期までに授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合、②天災、震災等被害者の被災又は死亡、事業不振その他の世帯の状況に及び、授業料の納付が困難であると認められる場合、③行方不明の場合、④やむを得ない事情があると認められる場合		給付奨学金	【第1種】240,000円 【第2種】200,000円	1年間 継続し受け受給することを妨げない。	第1種 各学年4名を上限 第2種 各学年8名を上限	地域の制限なし	併用可	併用可	
公立諏訪東京理科大学	海外研修支援奨学金	在学中	1年生～4年生	研修支援制度	【対象とする海外研修】 1 公立諏訪東京理科大学が主催する海外研修プログラム 2 東京理科大学が主催する海外研修プログラム 3 本学海外定款に定める海外研修プログラム 4 その他本学が認めた海外研修プログラム 【給付金額】毎年度、プログラムごとに設定 【対象学年】1年生～4年生 【対象学部】1学年の学部の正規の課程に在学する学生で、次のいずれかに該当する者 ①本学が主催する海外研修プログラムについて、主要な学部または学科にプログラム参加が認められた者 ②以下のア～エにおいて、本学が定める成績試験に合格した者 ア 英語に関する資格・検定試験のスコア イ 学部・在籍する学年以上の学業に於いては前年度または前年度まで以内のGPA ウ 学部・在籍する1年生の学生に於いては出身高等学校における外国語(英語)の評定平均値		給付奨学金	最大200,000円(海外研修プログラムごとに設定)				地域の制限なし	併用可	併用可	
	経済的理由による授業料免除	在学中	1年生～4年生	入学金・授業料免除	①経済的理由により授業料の納付が困難(厳格)であり、かつ学業成績優秀と認められる者 ②天災等における修学支援新制度の第3・第4区分該当学生		免除・減免	1年間授業料の半額 2学年支援新制度の第1・第4区分該当学生の制度で免除されない授業料	①1年間 ②修学支援新制度の第1・第4区分に認定された期間		地域の制限なし	条件有りでの併用可	併用可		
	学費負担者の状況変化等緊急理由による授業料免除	在学中	1年生～4年生	入学金・授業料免除	学費負担者が死亡し、または本人もしくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が困難であると認められる場合、または、これに準ずる場合であって、学長が相当と認める理由がある場合。 ※学費負担者の事由が生じた時から1年以内に申請が必要。		免除・減免	年間授業料の全額または半額			地域の制限なし	併用可	併用可		
	学生チャレンジプラン	在学中	1年生～4年生	課外活動支援制度	学生及び教職員が企画立案した事業で、学生の課外活動と同じ種類のものか、所属する部門、部団で行う学生の主体性や実践力の向上等が図れる内容のもの支給 1年～4年生 以下の資格取得について、受験費用及び移動費用の助成を行う。 (1) TOEIC®(30分以上)・JIPST(を含む) (2) 英語検1級 (3) 技術士一級試験 (4) 電気設備工事担任者試験(AI・DO総合種) (5) 品質管理検定2級 (6) 情報処理技術者試験(基本情報技術者以上) (7) 第三種電気主任技術者試験 (8) 情報処理技術者試験(情報セキュリティマネジメント) (9) 統計検定2級以上		給付奨学金	一律につき上限500,000円まで	1年間		地域の制限なし	併用可	併用可		
自然災害被災学生に対する学費減免	その他	在学中もしくは入学前	入学金・授業料免除	本学学生及び受験生 ①被災の範囲により、入学金、授業料(以下「学費等」という。)の全額又は一部を免除する。 ②被災の範囲が免除に該当しない場合において、学費等の支分が相当困難であると大学が判断したとき、入学金の全額又は授業料の半額を免除する。 ③上記のいずれにも該当しない被災者に対しては、免責金(3万円)を贈呈することができる。		免除・減免					地域の制限なし	併用可	併用可		
岐阜薬科大学	岐阜薬科大学山記念奨学金	在学中	5回生～6回生	特待生・成績優秀者	①本学薬学部5年次に進出した学生 ②入学後の学業成績や読書活動が特に優秀で、他の学生の範となる者		給付奨学金	年額20万円	2年間	各年度において、収容定員の1割程度とし、12名を限度(令和6年度入学生、令和7年度入学生については入人数を変更する場合があります。)	地域の制限なし	事務局教務厚生課	併用可	併用可	
	岐阜薬科大学山記念国際交流奨学金	在学中		国際活動支援制度	主に米国等の姉妹大学へ学生派遣となった者		給付奨学金	約20万円	1回限り	5名を限度	地域の制限なし	事務局教務厚生課	併用可	条件有りでの併用可	
静岡県立農林環境専門職大学	授業料等減免	在学中		入学金・授業料免除	①経済的理由によって学費の支分が困難な者 ②天災等による被害を受けた者		免除・減免	①授業料、入学金 全額、1/2、1/3学費相当額を限度	①半額ごと	①人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りでの併用可	
静岡県立大学	静岡県立大学私費外国人留学生奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援 その他	本学に在籍する私費外国人留学生(在留資格が「留学」)で、学業、人物ともに優れ、次の条件を満たす者。(学部1年生は対象外) ①成績評価制度 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ②経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ③経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ④経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑤経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑥経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑦経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑧経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑨経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑩経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑪経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑫経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑬経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑭経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑮経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑯経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑰経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑱経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑲経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ⑳経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉑経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉒経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉓経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉔経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉕経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉖経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉗経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉘経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉙経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉚経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉛経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉜経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉝経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉞経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㉟経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊱経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊲経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊳経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊴経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊵経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊶経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊷経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊸経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊹経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊺経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊻経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊼経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊽経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊾経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上 ㊿経済的支援 学部生(当該年度4月時点 で2年次以上) 2,000以上 大学院生 2,300以上		給付奨学金	学部生 50,000円/月 大学院生 70,000円/月	2022年度 2023年4月～2023年3月までの1年間(学業ごとの支給)	学部生 5名 大学院生 7名	地域の制限なし	学生部学生室	併用不可	併用不可	
	授業料減免制度	入学手続時		入学金・授業料免除	日本人、留學生ともに大学が承認する経済的理由が認められる基準を満たす者。(学年、学部などで制限はなし)		免除・減免	申請者の国籍順に応じて授業料の全額または半額減免を行う。	1年間(ただし、半額ごとに申請の機会あり)		地域の制限なし	学生部学生室	併用可	併用可	
	内西いよ子奨学金	在学中		研究費支援 用途を定めない経済的支援	①奨学金給付開始時に産学生命科学総合学部のうち薬学系大学院博士課程又は博士後期課程の1年次に在学している者。 ②成績が優れている者。 ③日本学術振興会特別研究員又は有志社奨学生に選ばれている者。 ④奨学金ででない者。 ⑤専攻コース学生ではない者。		給付奨学金	月額 50,000円		当該年度4月から修了年3月まで 当該年度ごとに更新のための審査者あり。	3名	地域の制限なし	学生部学生室	併用不可	併用不可
	成績優秀者奨励奨学金	在学中		特待生・成績優秀者	学部2年次の成績優秀者に支給		給付奨学金	各学部の基準による	1回限り		各学部の基準による	地域の制限なし	学生部学生室	併用可	併用可
	ドリーマーズ奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	1年生のうち、外国から居住した背景を持つ者に一時金を支給。		給付奨学金	5万円	1回限り		最大4名	地域の制限なし	広報・企画室	併用可	併用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
下関市立大学	成績優秀者奨励金制度	在学中	2年～4年	特待生・成績優秀者		本学の学部学生で学力が優秀であると認められる者。	給付奨学金	一人当たり年額10万円以内（前期と後期の別に分け、在学している学期ごとに給付）	1年間。	各学年各学部それぞれ入学定員の約10%以内。専攻科については、2～4年生までの全留學生の2～4名以内。	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可
	授業料減免制度	在学中	1年～4年	入学金・授業料減免		授業料を負担する者が、震災、風水害、火災その他の災害により、住宅又は家族が半壊以上の被害を受けた者(申請前1年以内の災害に属する)を対象に、授業料減免する。ただし同一の災害について1回を限度とする。	免除・減免	各期授業料の額の2分の1に相当する額を上として減免する。(1回限り)	半期。	人数に制限なし。	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可
	下関市立大学国際交流支援	随時		研修支援制度 留学費用支援制度 用途を定めない経済的支援 奨励金 その他	国際インターンシップ支援 奨励金 入国入籍・留学生支援 国際インターンシップ助成金、新入外国人留学生支援、見舞金	1指定校への派遣留学 2国際インターンシップ支援 3国際インターンシップ支援 4本学の専攻科に生活習性特が困難な学生支援 5入国入籍・留学生支援 6留学生の資格等取得のための試験料補助	給付奨学金	1指定校への派遣留学 1年間の旅費 英語圏地域 4万円/人 中国語圏 4万円/人 韓国語圏 1万円/人 2地域 1万円/人 1年間の旅費 英語圏 4万円/人 中国語圏 4万円/人 韓国語圏 5万円/人 2地域 1万円/人 英語圏 4万円/人 中国語圏 3万円/人 韓国語圏 3.5万円/人 3国際インターンシップ(1回) 40,000円/人 英語圏・中国語圏・韓国語圏 30,000円/人 4本学の専攻科に生活習性特が困難な学生支援 5万円/人 5留学生の資格等取得のための試験料補助 最高5万円または実費額/人	前項1～3は出身前またはプロダクション終了後1回 前項4は専攻科(1大学定員学生が対象、年間2回/人)	前項1:25人、2:75人、3:23人、6:21人(2023年度予算)	地域の制限なし	国際交流センター 国際交流課	併用可	併用可
	下関市立大学後援会奨励	在学中	1年～4年	研修支援制度 課外活動支援制度 用途を定めない経済的支援 その他	見舞金、各種大会参加費、表彰事業	在学中に所定の資格等を受験・取得した学生、専攻科プログラム活動を行った者で公的機関等が表彰した学生、または各種大会(体育・文化)に出場し優秀成績をあげた学生個人もしくは団体に對し、後援会が奨励金の交付を行う。	その他	所定の資格等取得について1回の試験料が5,500円(受験に要した金額が5,000円に満たない場合は受験に要した金額、受験料が受験料の一部の額は10,000円)を上乗して、年2回まで奨励。所定の資格等を受得した場合、20,000円の奨励金を支給。 奨励金上限は10,000円、各種大会参加費は上限100,000円を支給。表彰費には10,000円相当の図書費を支給。	申請を受け付け次第、随時支給。	特に人数の制限なし。	地域の制限なし	下関市立大学後援会	併用可	併用可
	学生旅行(地域福祉)	在学中	2年次以上	その他	その他	PBLの取り組みで県外の活動に参加した学生に對して支給する。	給付奨学金	20,000円/人(半額)(2022年度実績)	報告書提出後の翌月(1月又は2月)に支給	2023年度6人	沖繩県	キャリアセンター	併用可	併用可
山口県立大学	公立大学法人山口県立大学授業料の免除等に関する規程	在学中	全年対象	入学金・授業料減免 被災者資金支援		ア 対象学年・学部 全年・全学対象者。 イ 資格・条件 学費負担者が経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学生の学業成績が良好である場合。	免除・減免	納める授業料の全額(267,900円)または半額(133,950円)免除。	修業年限に定める期間	定めない	地域の制限なし	学生部学生支援部門	併用不可	併用可
	山口県内で発生した風水害等の災害における入学生料免除	入学生続時		入学金・授業料減免 被災者資金支援		①又は②に該当する場合 ①入学前1年以内において、入学する者又は入学する者の学費を主として負担する者が、山口県内で発生した風水害等の災害を受けた場合 ②前項の災害に際し、学費負担に関する事項が相当と認められる理由がある場合	免除・減免	入学科(県内生)141,000円(県外生)282,000円 ○全額免除 ア 災害発生時に、入学する者又は学費負担者が災害救助法適用地域に居住していた場合であって、学費負担者が所有する自宅が全壊、大規模半壊、半壊又は流出した場合 イ 災害発生時に、入学する者又は学費負担者が災害救助法適用地域に居住していた場合であって、学費負担者が死亡又は行方不明となった場合 ○全額免除または半額免除 理事長が相当と認める理由がある場合	免除が許可された後、撤回しない方法で入学手続きを済ませる	条件を満たしていれば、人数の制限なし	山口県	学生部入試部門	併用可	併用可
	YPIP「チームアドベンチャー」プロジェクト	その他	採択後(6月以降)	その他	課外活動支援制度	ア 応募資格 ○応募資格は、本学に在学している学生及び学生団体とする。 ○プロジェクト企画は翌年の1月末日までに成果が出来る内容でなければならない。 ○応募年度の修業、学費負担に関する事項は明確と認められること。応募することができない。 ○過去に実施されたプロジェクトと同一とみなされるプロジェクト企画は、応募することができない。	その他	採択された企画に對し予算の範囲内(上限100,000円)で活動経費の一部または全部を助成する。(後者グループ)	採択後(6月以降)からプロジェクトが終了するまで(12月まで)	グループの人数に上限なし	地域の制限なし	学生部学生支援部門	併用可	併用可
北九州市立大学	成績優秀者奨励制度	その他	大学期で決定(本人の申請によるなし)	特待生・成績優秀者		最優秀奨励賞者(4年生)	給付奨学金	200,000円	1回のみ(夏期)	15名(各学科1名)	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可
	授業料減免制度	入学後		入学金・授業料減免		「高等教育の修学支援制度(日本学生支援機構給付奨学金及び授業料等減免)」の申請要件を満たさない者(主に、大学院生・留学生等)を対象とした制度。以下の基準あり。生活保護世帯又は災害を受けた世帯のみ、2期とも申請可。 ＜学業成績に関する基準＞ ・高等教育の修学支援制度と同程度の学業成績を修めていること。(大学院生は、修業年限を超えていないこと) ＜経済的理由に関する基準＞ ① 高等教育の修学支援制度と同程度の家計基準であり、授業料の納入が困難と認められること。 ② 申請前1年以内(又は被災地その他不慮の災害)により、学費の負担が増えられなくなったこと。	免除・減免	年間授業料の1/2(20,900円/年間授業料が535,800円の場合) 年間授業料の1/3(17,600円/年間授業料が535,800円の場合)	授業料減免のため、支給ではない	上記なし	地域の制限なし	地域・学生課	併用不可	併用可
	北九州市立大学奨学奨励金(北九州市立大学国際交流基金奨学奨励金)	その他	選考2か月前後	留学費用支援制度		対象プログラム:交換留学・派遣留学・短期研修 支給条件:学業成績が優秀で人物等に優れ、日本学生支援機構海外留学支援制度の対象外の学生。 国際交流基金から補助金を受給する学生は、同基金の審査を完了していること。	給付奨学金	10万円/1回 アメリカ・イギリス・アメリカ・ドイツ・オーストラリア・タイ(交換留学)・マレーシア・カナダ・ロシア・インド・アイルランド 5万円/1回 韓国・中国(学費除く交通費・派遣費) 3万円/1回 中国語(短期研修)	＜交換・派遣＞選考結果後<留学研修>研修終了後	支給条件に合致する学生全員	地域の制限なし	国際課	併用不可	併用可
北九州市立大学奨学奨励金(授業料補助)	その他	選考2か月前	留学費用支援制度		対象プログラム:派遣留学 支給条件:学業成績が優秀で人物等に優れ、日本学生支援機構海外留学支援制度の対象外の学生	給付奨学金	本学の授業料相当額(英語圏派遣留学) 留学者の授業料相当額(中国語圏派遣留学)	選考後の授業料納付後支給(1回のみ)	支給条件に合致する学生全員	地域の制限なし	国際課	併用不可	併用可	
福岡県立大学	公立大学法人福岡県立大学奨励金(市場特別奨学金)	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援		経済的な理由により修学を継続することが困難な者。 日本学生支援機構の奨学金を新規に又は増額変更を申し込んでいる学生の当該奨学金が支給されるまでの間に修学上、つなぎ資金を必要とする者。	貸与奨学金	60万円を限度	貸付総額が60万円を超えない範囲で、年2回まで	年度により異なる	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	併用可
	福岡県立大学看護部助成金(福和子奨学金)	入学後		学費支援		1年～4年生の看護学部学生対象(編入生・休学中の者を除く)	給付奨学金	後期授業料の自己負担部分	半期	1名程度	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	併用可
大分県立看護科学大学	授業料減免制度	入学後		入学金・授業料減免		1年～4年生対象 修学支援制度の対象外の者でかつ経済的理由によって学費の支弁が困難な者	免除・減免	修学支援制度に準じる(前項に準じて、授業料の減額(上限額の範囲内)2/3、1/3の減免)	修学支援制度に準じる	人数制限なし	地域の制限なし	教務学生グループ	併用不可	併用可
	宮崎県立大学	MMU成績優秀者奨学金A	その他	一般入試成績上位者が対象	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜前期日程合格者上位5名、後期日程合格者上位5名 ※本奨学金についての情報は令和5年5月1日現在のものです。	免除・減免	入学科相当額			地域の制限なし	学生支援課学生課	併用可	併用可
	MMU修学支援奨学金A	入学手続時		入学金・授業料減免		次のいずれかに該当する者 (1)入学前1年以内において学費負担者が死亡、かつ、世帯収入が基準額以下の場合。 (2)入学前1年以内において本人又は学費負担者が風水害等の災害を受け、かつ、世帯収入が基準額以下の場合。 ※本奨学金についての情報は令和5年5月1日現在のものです。	免除・減免	入学科相当額			地域の制限なし	学生支援課学生課	併用可	併用可
	MMU成績優秀者奨学金B	在学中		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		本学の2年生～4年生で、前年度までに基準単位数を修得し、前年度の学次が1位～3位の者 ※本奨学金についての情報は令和5年5月1日現在のものです。	免除・減免	授業料年額の半額相当額		2年次以上各学年3名	地域の制限なし	学生支援課学生課	条件有り併用可	条件有り併用可
	MMU緊急修学支援奨学金A	入学手続時		入学金・授業料減免		(1)東日本大震災により被災した入学予定者で次のいずれかに該当する者 ア 被災により学費負担者が死亡または行方不明の場合。 イ 被災により当該学科(看護学生生活)に相当する状況となっている場合。 (2)前項のほか災害救助法の適用があった地域で主たる学費負担者もしくは本人が入学前1年以内に被災した入学予定者、もしくは理事長が必要と認められるに該当する者。 ア 被災により学費負担者が死亡または行方不明の場合。 イ 被災により主たる学費負担者または本人の居住する住宅が半壊以上、全壊、半壊、全流失している場合。 ※本奨学金についての情報は令和5年5月1日現在のものです。	免除・減免	入学科相当額			地域の制限なし	学生支援課学生課	条件有り併用可	条件有り併用可
	MMU緊急修学支援奨学金B	随時		入学金・授業料減免		(1)東日本大震災により被災した入学予定者で次のいずれかに該当する者 ア 被災により学費負担者が死亡または行方不明の場合。 イ 被災により当該学科(看護学生生活)に相当する状況となっている場合。 (2)前項のほか災害救助法の適用があった地域で主たる学費負担者もしくは本人が1年以内に被災した本学の在学または入学予定者、もしくは理事長が必要と認められるに該当する者。 ア 被災により学費負担者が死亡または行方不明の場合。 イ 被災により主たる学費負担者または学生本人の居住する住宅が半壊以上、全壊、半壊、全流失している場合。 ※本奨学金についての情報は令和5年5月1日現在のものです。	免除・減免	給付年度の授業料全額相当額または半額相当額			地域の制限なし	学生支援課学生課	条件有り併用可	条件有り併用可
	MMU成績優秀者奨学金C	在学中		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		私費外国人留学生2～4年生の中で、前年度までに各学年の基準単位数を修得しており、かつ、その成績が各学年の成績上位2分の1以内である学生。 ※本奨学金についての情報は令和5年5月1日現在のものです。	免除・減免	授業料年額の半額相当額			地域の制限なし	学生支援課学生課	併用不可	条件有り併用可
	MMU成績優秀者奨学金D	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		私費外国人留学生入学選抜試験の合格者で、下記のいずれにも該当している者。 ※奨学金(留)・留學生納入学生対象 ①選抜試験において上位10名以内であること。 ②公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催する日本語能力試験(JLPT)においてN1に合格していること。 ※本奨学金についての情報は令和5年5月1日現在のものです。	免除・減免	入学科相当額			地域の制限なし	学生支援課学生課	併用不可	条件有り併用可
沖縄県立芸術大学	(公財)沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金	在学中	毎年6月頃	用途を定めない経済的支援		対象学年 問わない。在学中であること。(休学や長期留置は対象外) 学業 問わない 資格 本学に在学する学生(留學生を含む)で、人物、学業ともに優れ、かつ健康であり学費の支弁が困難と認められる者(他から奨学金の貸付または給付を受けるものも含む。ただし留學生は対象外ではない。)	給付奨学金	自宅通学者 月額:25,000円 自費通学者 月額:30,000円	1年間	年度によって異なる	地域の制限なし		併用不可	併用不可
	沖縄県立芸術大学 公益財団法人金秀青少年育成財団奨学金	在学中	毎年7月頃	用途を定めない経済的支援		本学の2年生以上の学部学生(休学者を除く)であって、人物、学業ともに優れ(学業成績評定平均値が原則2.0以上)、今後引き続き本学における修学に十分に励み得ると認められる者。ただし、本年度に他の給付型奨学金を受け取る者は除く。	給付奨学金	年額10万円	1年間	若干名	地域の制限なし		併用不可	条件有り併用可
	大学独自授業料等減免	その他		入学金・授業料減免		①CPA2以上の学生 ②以下いずれかに当てはまる学生(修業年限を超える学生は申請不可(病休学生・留学生など特別な理由が認められる者を除く)) ・高卒卒業後2年を超えて入学した学生 ・留学生 ・大学院生	免除・減免	【入学科】 全額免除 282,000円(県内生住者)/312,000円(その他の者) 半額免除 141,000円(県外住居者)/256,000円(その他の者) 【給費科】 全額免除 267,900円 半額免除 133,950円		人数制限なし	地域の制限なし	教務学生課	併用不可	併用可